

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-7

<16週> A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、伝染性紅斑 - 定点当たり報告数は前週と比べて増加した / その他最新動向
<3月> 性感染症・薬剤耐性菌・結核について



注目すべき感染症
P.8

<麻疹> 全国レベルでみると、16週までの定点当たり報告数は例年に比べ低いレベルで推移している。



病原体情報
P.9

患者から分離・検出された病原体報告 - インフルエンザ / 感染性胃腸炎



速報
P.10

抗原変異が示唆されたB型インフルエンザウイルスの分離 - 宮城県



海外感染症情報
P.11

ギリシャで急性の呼吸器疾患 / ソマリアでコレラ流行 / アフリカの髄膜炎地帯での髄膜炎菌感染症流行 - 更新



感染症の話
P.12-15

バンコマイシン耐性腸球菌感染症
術後患者や感染防御機能の低下した患者では、腹膜炎、術創感染症、肺炎、敗血症などの感染症を引き起こす場合がある



読者のコーナー
P.16

親子のポリオワクチン接種について



グラフ総覧(16週)
P.17-23



グラフ総覧(3月)
P.24-28



3月のデータ
P.29-32



16週のデータ
P.33-40



発生動向総覧

第16週コメント 4月26日集計分

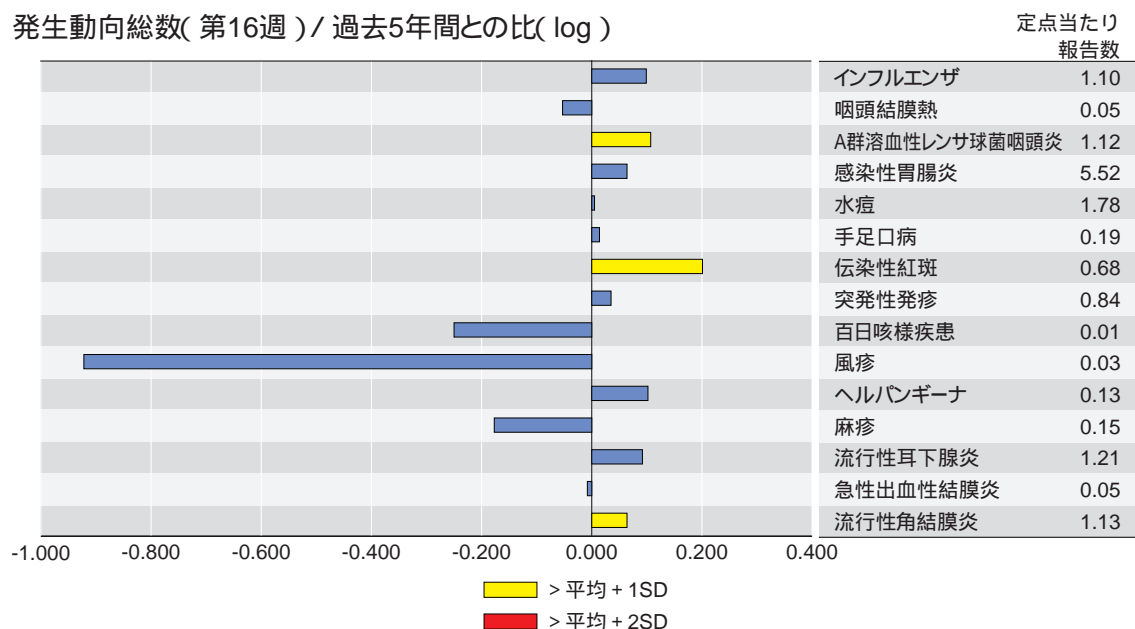
全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 細菌性赤痢6例(推定感染地: 国内2例、インドネシア、ネパール、インド、中国(香港)各1例)、腸チフス1例(推定感染地: ネパール)、パラチフス1例(推定感染地: インド)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症46例(石川県、佐賀県で保育園の事例がそれぞれ6例、20例)
- 4類感染症: アメーバ赤痢8例(推定感染地: 国内5例、中国1例、その他1例、不明1例)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、ジアルジア症5例(推定感染地: 国内2例、フィリピン2例、パラグアイ1例)、ツツガムシ病3例、破傷風1例、レジオネラ症1例、急性ウイルス性肝炎14例 (A型11例、B型3例(感染経路: 性的接触2例、不明1例))、クロイツフェルト・ヤコブ病1例(孤発性)、後天性免疫不全症候群7例(無症候性キャリア5例、AIDS 1例、その他1例) (感染経路: 性的接触7例(異性間2例、同性間5例))、梅毒4例(早期顕症1例、晩期顕症1例、無症候2例)、マラリア1例(三日熱マラリア__推定感染地: フィリピン)

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、伝染性紅斑、流行性角結膜炎の定点当たり報告数は、過去5年間の同時期と比べてやや多くなっている。都道府県別では、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が山形県(定点当たり報告数2.7)、長野県(2.4)、北海道(2.3)、福井県(2.3)など、伝染性紅斑が青森県(2.2)、秋田県(1.9)、栃木県(1.7)など、流行性角結膜炎が愛媛県(4.1)、宮崎県(3.0)、群馬県(2.6)などで多くなっている。

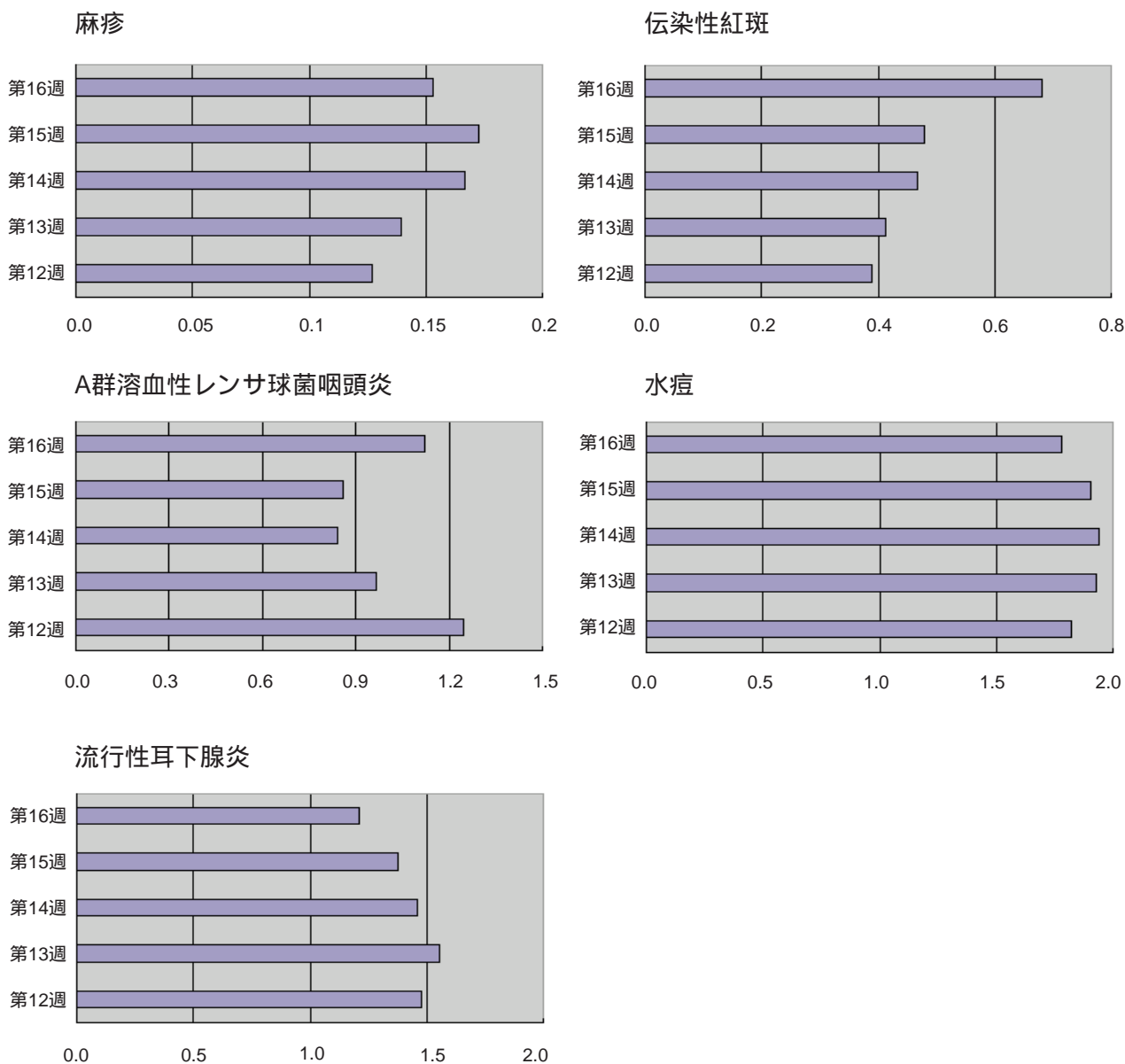
発生動向総数(第16週) / 過去5年間との比(log)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

最近の注目疾患－5週間の動き

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、伝染性紅斑の定点当たり報告数は前週と比べて増加した。水痘、麻疹、流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は前週と比べて減少した。



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。

3月コメント

性感染症について(4月11日集計分)

2002年3月の月別定点当たり患者報告数は、性器クラミジア感染症が3.58(男1.58、女2.00)、性器ヘルペスウイルス感染症が0.92(男0.39、女0.53)、尖形コンジロームが0.53(男0.28、女0.24)、淋菌感染症が1.90(男1.53、女0.37)で、4疾病のうち、男性では性器クラミジア感染症および淋菌感染症、女性では性器クラミジア感染症が多かった。前月に比べ、いずれの疾病も増加している(24～27ページ「グラフ総覧」参照)。

定点当たり報告数を年齢階級別に比較すると、いずれの疾病でもピークは20～29歳にあったが、性器ヘルペスウイルス感染症は30～34歳にも多く、他の3疾病に比べ50代以降の高年齢層からの報告も少ない。

男女比は、性器クラミジア感染症(図1a)で1:1.26、性器ヘルペスウイルス感染症(図1b)で1:1.33、尖形コンジローム(図1c)で1:0.87、淋菌感染症(図1d)で1:0.25で、淋菌感染症では男性の占める割合が高い。いずれの疾病でも、若年齢層ほど女性の報告者数が多い傾向が認められた。(3月の性感染症定点総数は916)

感染症法が施行された1999年4月以降、3年間の各性感染症の年齢別月別定点当たり報告数の変化を男女別に図2に示した。性器クラミジア感染症および淋菌感染症に増加傾向が認められ、特に若年齢層の女性においてその傾向が強い。

なお、各性感染症のグラフ総覧の月別定点当たり報告数の1999年3月と4月間で生じたギャップ、および本発生動向調査で得られる患者報告数の男女比については、本週報2000年第46号4ページを参照されたい。

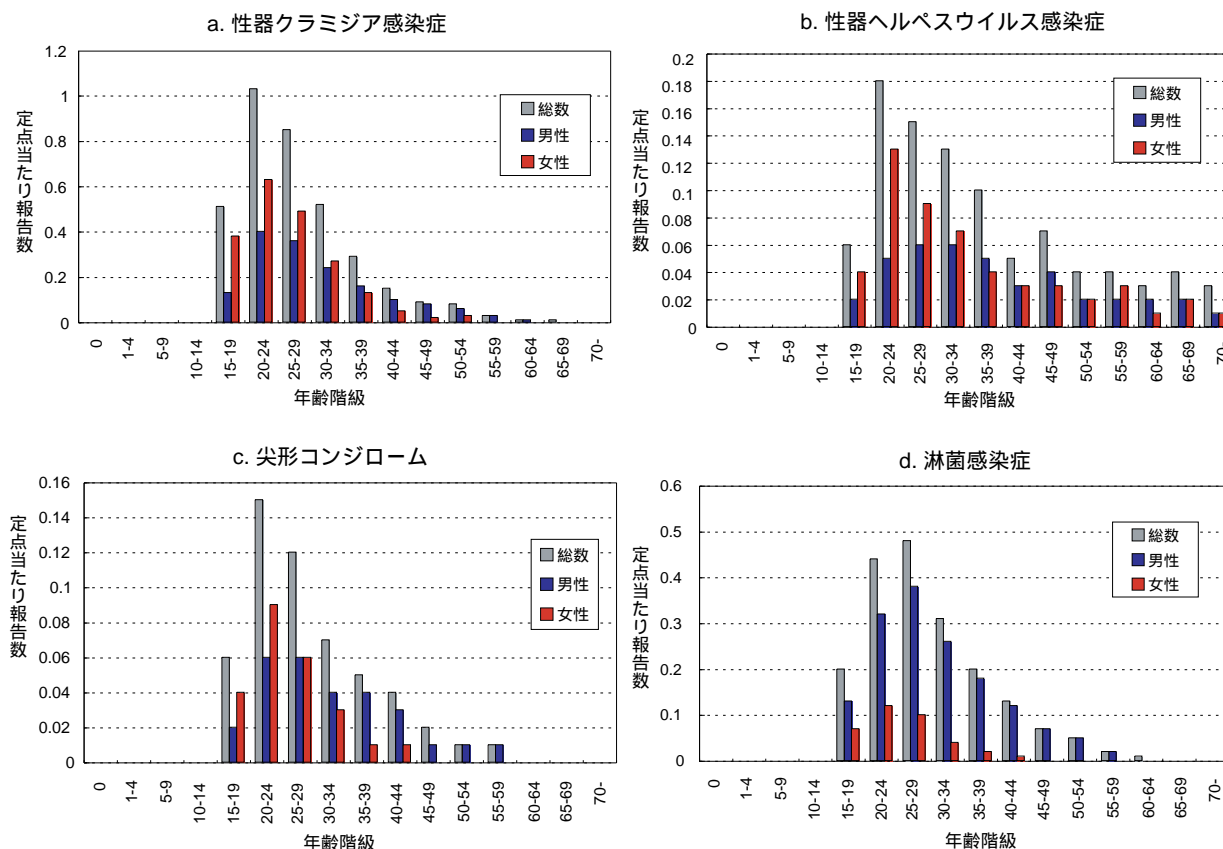
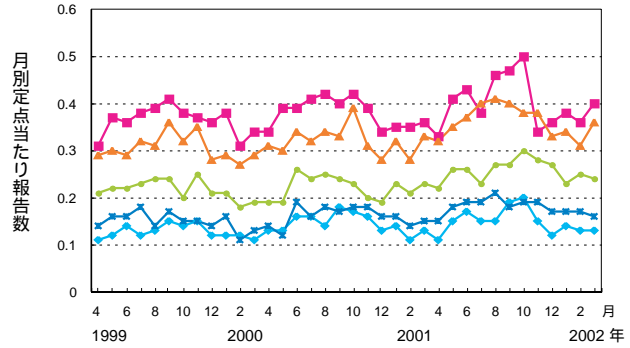


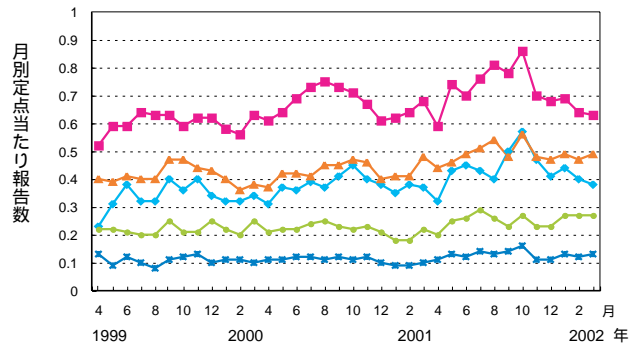
図1. 性感染症の年齢階級・性別グラフ

図2. 1999年4月以降の性感染症の年齢別月別定点当たり報告数

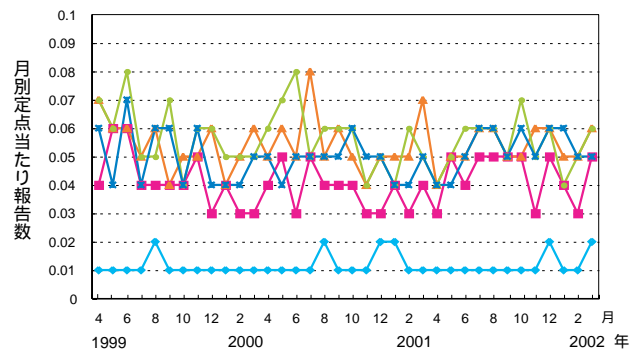
性器クラミジア感染症 (男性)



性器クラミジア感染症 (女性)



性器ヘルペスウイルス感染症 (男性)



性器ヘルペスウイルス感染症 (女性)

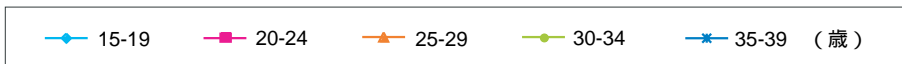
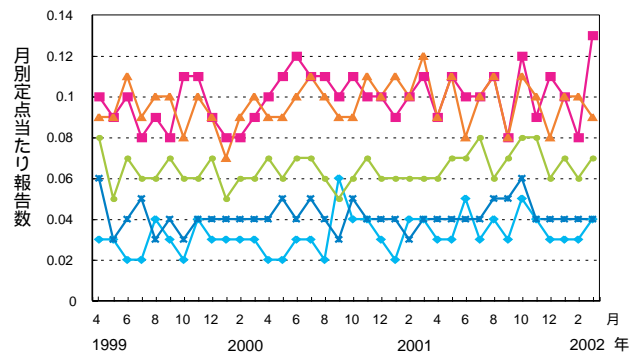
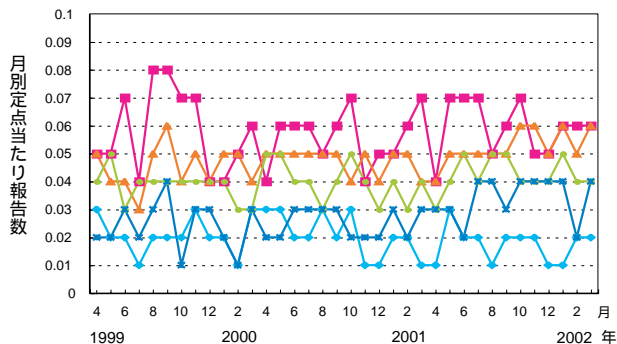
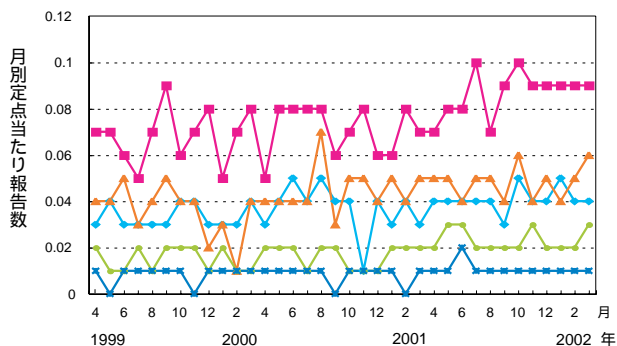


図2. 1999年4月以降の性感染症の年齢別月別定点当たり報告数

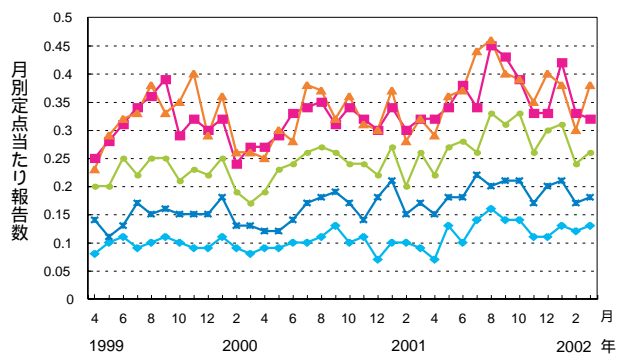
尖形コンジローム (男性)



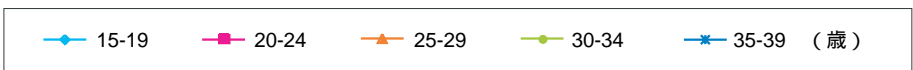
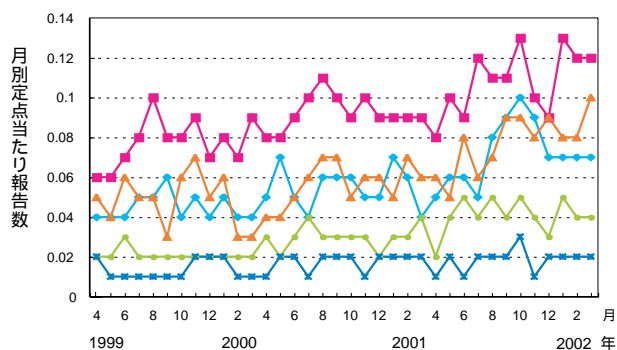
尖形コンジローム (女性)



淋菌感染症 (男性)



淋菌感染症 (女性)



薬剤耐性菌感染症について (4月11日集計分)

【注】 内の+、-、=は、前月に比し定点当たり報告数のそれぞれ増加、減少、不変を表す。

3月の基幹定点総数: 464 .

3月の定点当たり報告数: メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症 3.45(-)

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症 1.05(+)

薬剤耐性緑膿菌感染症 0.12(=)

年齢階級別: MRSA感染症 ……0歳と高齢者に多く、65歳以上が全体の66%を占める。

PRSP感染症 ……1～4歳が最も多く、全体の42%を占める。

薬剤耐性緑膿菌感染症 ……高齢者に多く見られ、65歳以上が全体の61%を占める。

結核サーベイランス月報 (4月24日集計分)

3月の新登録患者数は2,604人、活動性肺結核患者は2,089人(うち、喀痰塗抹陽性患者は966人)であった。

また、新登録患者数に含まれない(統計的には別掲扱い)マル初*は641人、非定型抗酸菌陽性者数は230人であった。

*マル初…結核の感染が強く疑われ、発病予防のための治療を受けている者であって、正確には結核発病者ではない。

コメントは結核研究所の結核発生動向調査結果報告(<http://www.jata.or.jp/tbmr/tbmr.htm>)をご覧ください。



注目すべき感染症

麻疹

麻疹は例年年明けから春にかけて報告が増加し、5月頃流行のピークを迎える。昨年は1992、1993年以来の大きな流行となり、成人麻疹患者の増加も認められた。2002年の16週までの発生状況に関しては、全国レベルでの定点当たり報告数は例年にくらべ低くなっている(20ページグラフ参照)。16週現在、定点当たり報告数が多くなっているのは、青森県(1.1)、愛知県(0.6)、福島県(0.4)、茨城県(0.4)、千葉県(0.4)などである。本年第1週からの累積患者報告数は4,908人であり、その年齢階級別内訳を円グラフに示す。全国約500の基幹病院定点から報告される成人麻疹患者数は、累積で125人となっている。

厚生労働省感染症発生動向調査警報発生システムによれば、大きな流行の存在を示唆する「警報」は、愛知県内の7保健所、青森県、茨城県、千葉県内の各2保健所など全国計19保健所で発生しており、今後4週間以内に警報が生ずる可能性が高い「注意報」は、愛知県内の7保健所、埼玉県内の4保健所、茨城県内の3保健所など全国計35保健所に発生している。

1歳を過ぎた麻疹ワクチン未接種かつ麻疹未罹患者には、ワクチンを早急に接種することが推奨される。

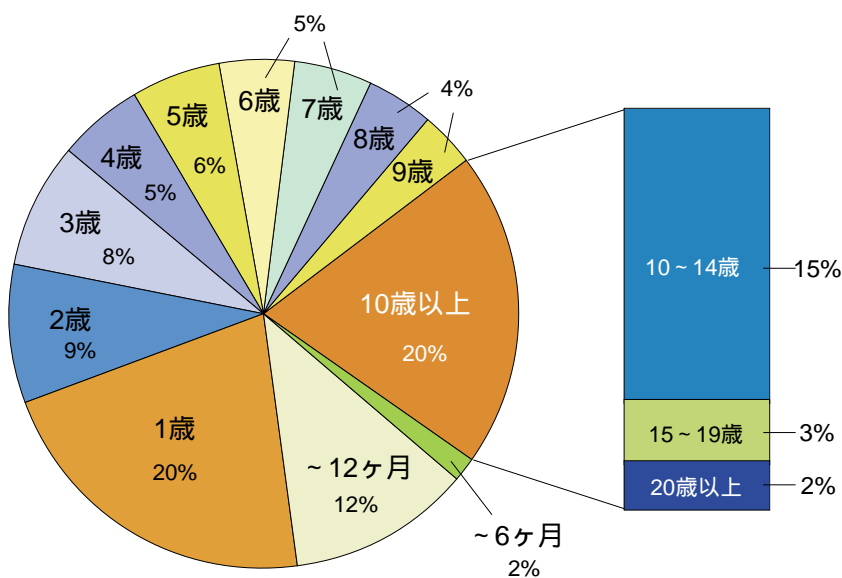
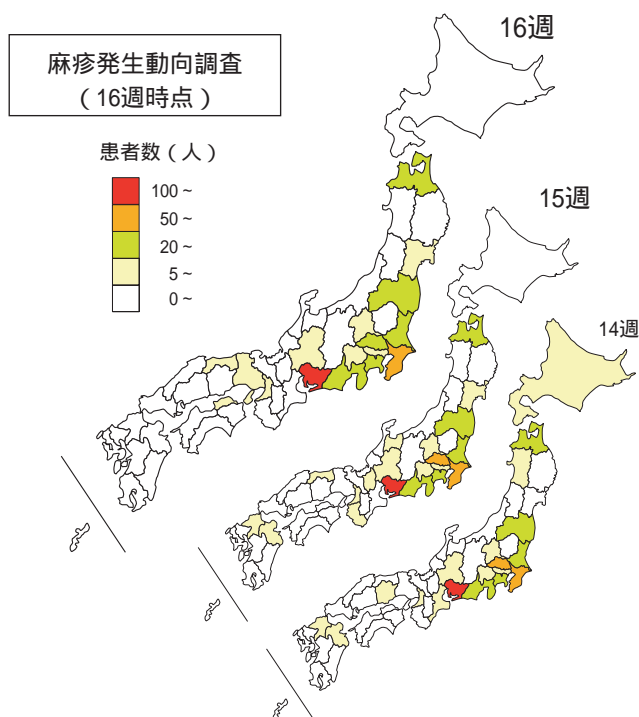


図. 累積麻疹患者年齢階級別グラフ (2002年1～16週)



病原体情報

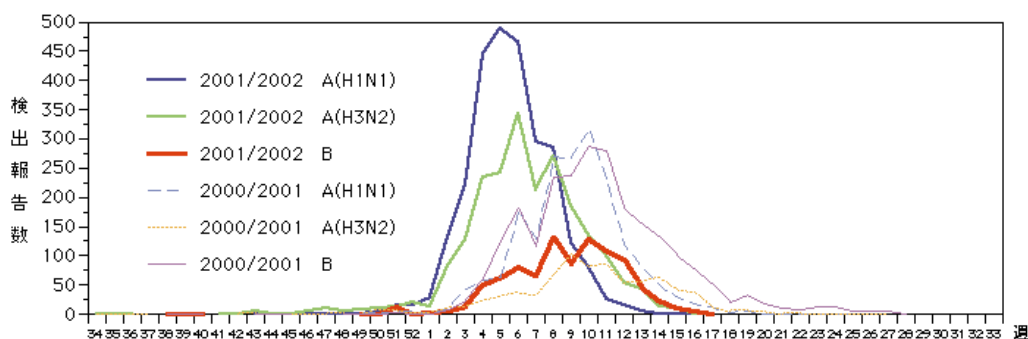
*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。
(2002年4月26日現在報告分)

インフルエンザ 2001/02シーズン

今シーズンの分離・検出報告は、A/ソ連型(H1)が2,596件、A/香港型(H3)が2,030件、B型が903件である。昨シーズンと同様にA/ソ連、A/香港、B型の混合流行であるが、今シーズンは、A/ソ連、A/香港型に関しては第2週から報告が増加し始め、第5週にA/ソ連型が、第6週にA/香港型がピークを迎えた。B型は第4週頃より報告が増加し始め、他の2つの型より先ピークは遅れており、第10週以降では報告数の減少したA/ソ連型を上回り、A/香港型とともに報告が続いている。最近では、A/ソ連型が第16週に1(札幌市)、A/香港型が第15週に5(3市)、B型が第15週に5(2県市)、第16週に4(福岡市)が報告されている。

週別型別インフルエンザウイルス分離・検出報告数の推移、2001/2002シーズン

(病原微生物検出情報: 2002年5月2日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



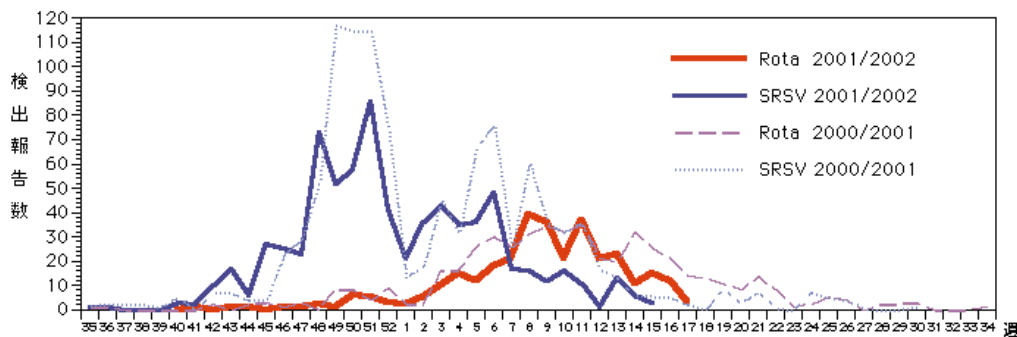
Infectious Agents Surveillance Report

感染性胃腸炎 2001/02シーズン

今シーズンのSRSVの検出は、ノーウォーク様ウイルス(NLV)genogroup IIが474件、NLV genogroup Iが25件、NLV genogroup unknownが133件、サッポロ様ウイルス(SLV)が30件で、その他に電頭による検出が73件報告された。また、A群ロタウイルス281件、群不明ロタウイルス22件の検出が報告されている。SRSVは第51週をピークに減少し、第8週以降ロタウイルスがSRSVの検出数を上回っている。

週別SRSV&ロタウイルス検出報告数の推移、2001/2002シーズン

(病原微生物検出情報: 2002年5月2日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report



抗原変異が示唆されたB型インフルエンザウイルスの分離 - 宮城県

2002年2月下旬～3月中旬にかけて、宮城県の一地域で採取した検体から赤血球凝集抑制(HI)試験では同定が困難で、インフルエンザ検出キットおよびPCRによってB型インフルエンザと同定されたウイルスを相次いで分離した。

当センターの協力医療機関において2002年2月27日～3月18日に、11名の患者から咽頭ぬぐい液が採取された。年齢は5～15歳、臨床症状は発熱(37.9～40.0℃)、上気道炎、頭痛などのインフルエンザ様症状に加え、嘔吐も認められたが、その他特記すべき症状はなかった。11名中2名が今シーズン前にワクチンを接種していた。

ウイルス分離はトリプシン加MDCK細胞培養で実施し、継代2代目においてすべての検体で細胞変性効果が認められ、その培養上清はモルモット赤血球を凝集した。そこで、国立感染症研究所より分与されたフェレット抗血清を用いてHI試験を行った結果、10株が2001/02シーズン用抗血清A/Moscow/13/98(ホモ価640)、A/New Caledonia/20/99(同640)、A/Panama/2007/99(同1,280)、B/Johannesburg/5/99(同80)、B/Akita(秋田)27/2001(同40)の抗血清に対しHI価10未満で、1株のみがB/Akita/27/2001に対してHI価10を示した。

以上のように、HI用抗血清では分離株の同定が困難であったことから、インフルエンザ迅速キット、「インフルA・B - クイック「生研」」を用い型別を行ったところ、すべての分離株はB型と判定された。さらに、高尾ら¹⁾の型別プライマーを用いたPCRを実施したところ、いずれの分離株からもB型インフルエンザに特異的なバンドが検出された。これらの成績より、すべての分離株はB型インフルエンザウイルスと同定された。

近年、日本において分離されるB型インフルエンザウイルスは山形系統とVictoria系統の2つに大別される。そこで、今回分離したウイルス株について、B型インフルエンザウイルスHA遺伝子の一部を増幅する佐原ら²⁾のプライマーを用いてPCRを行い、その増幅産物についてダイレクトシーケンスを実施した。その結果、遺伝子データベースより検索した山形系統の代表株であるB/Mie(三重)1/93、B/Yamanashi(山梨)166/98、B/Johannesburg/5/99との相同性は85.1～86.6%であったのに対し、Victoria系統の代表株であるB/Victoria/2/87、B/Guangdong(広東)05/94、B/Aichi(愛知)33/97との相同性は91.4～93.4%を示し、さらに分子系統樹を作成したところ、分離株はVictoria系統のクラスターに属した。これらのことから、今回分離された株はB/Victoria系統と判明した。しかし、HI試験ではVictoria系統のB/Akita/27/2001の抗血清と反応性が低く、さらに抗原変異した株である可能性も示唆されたので、他の抗血清を用いて抗原性の検討を行う必要がある。

石川県において2002年1月に発生した集団かぜの患者より、我々が分離したウイルスと同様なHI試験の結果を示したB型インフルエンザウイルス株が分離されている³⁾。今回の分離対象検体は同一地域から約1カ月間にわたり採取された材料であることから、宮城県内においてはB型変異株による流行があったものと推察され、今後変異株の発生動向に注目していきたい。

文献

- 1)高尾ら, 広島県保健環境センター研究報告, No.2, p.9-13, 1994
- 2)佐原ら, 感染症誌, 73, p.481-485, 2000
- 3)尾西ら, IASR, Vol.23, No.3, p.6, 2002

宮城県保健環境センター微生物部

後藤郁男 植木 洋 佐藤千鶴子 沖村容子 秋山和夫

宮城県公衆衛生協会 白石廣行

光ヶ丘スペルマン病院小児科 野呂知世



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

ギリシャで急性の呼吸器疾患

WHO/CSR 2002年4月25日、4月26日、5月3日

ギリシャ厚生省は4月29日現在、3名の死亡を含む51名の心嚢炎または心筋炎を伴った呼吸器感染症患者を報告した。

病因ウイルス特定のための検査が行われ、疫学的調査も行われている。ギリシャ保健省は、人ごみは避けること、手洗いなどの衛生習慣を励行するように指示を出し、予防対策として3日間すべての学校を閉鎖した。上気道感染症患者数が増加している兆候はない。

WHOは、ギリシャへの旅行や貿易に関していかなる特別な制限も勧告していない。

ソマリアでコレラ流行

WHO/CSR 2002年4月23日

4月22日現在、2002年4月12日から始まったコレラ流行で、63名の死亡を含む1,191名のコレラ患者(致命率5.3%)がWHOに報告された。18地区のうちのBanadir(Mogadishu)、Lower Shabelle (Merka)、Middle Shabelle(Jilib and Haranka)、Hiraan(Belet Weyne)、Bari(Bossasso)の5地区で流行が起きている。検査で *Vibrio cholerae* O1小川型が確認された。

アフリカの髄膜炎地帯での髄膜炎菌感染症流行 - 更新

WHO/CSR 2002年5月6日

ブルキナファソ: 4月28日現在、1,368名の死亡を含む11,899名の髄膜炎菌感染症患者(致命率11.5%)がWHOに報告された。4月22日から4月28日の1週間で、67名の死亡を含む652名の患者(致命率10.5%)の報告があり、流行は沈静化の傾向を示している。

ニジェール: 4月21日現在、308名の死亡を含む3,518名の髄膜炎菌感染症患者(致命率8.8%)がWHOに報告された。



感染症の話

バンコマイシン耐性腸球菌感染症

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)は、バンコマイシン(VCM:MRSAなどグラム陽性菌に有効な抗菌薬)に耐性を獲得した腸球菌である。健常者の場合は、腸管内にVREを保菌していても通常、無害、無症状であるが、術後患者や感染防御機能の低下した患者では腹膜炎、術創感染症、肺炎、敗血症などの感染症を引き起こす場合があるため、欧米では、ICUや外科治療ユニットなど易感染者を治療する部門で問題となっている。

疫学

1980年代前半に欧州で最初に分離され、1990年代に入り欧州、米国などで急速に拡大し、現在それらの地域では、ICUなどで分離される腸球菌の20%以上がVREと判定されている。

一方我が国では、感染症法に基づく届け出は1999年(4～12月)に23例、2000年(以後は1～12月)に36例、2001年に41例(暫定データ)となっているが、それらの多くはvanC型であり、欧米と様相を大きく異にしている。また、便や尿からの分離例で、いわゆる定着例と考えられる事例も多い。院内感染対策が重要なvanAやvanB型が血液や腹水などから分離される「VRE感染症」の症例は、未だ少数である。しかし、我が国でも今後欧米のようにVREの分離例が増加する事は十分予想される。

前述の如く、国内でのVREの分離は未だ稀であり、適切な対策や行政的施策などを実施するため、その全数を把握する事が不可欠となっている。したがって、感染症法ではVREの感染症症例の全例について報告義務が課せられている。

病原体(表1)

腸球菌属は健常者の回腸や口腔、外陰部などからしばしば分離される常在性のグラム陽性球菌であり、病原性が非常に弱い点の特徴である。乳酸発酵をするため広義には「乳酸菌」の一種とも考えられ、チーズなどの乳製品の製造に用いられる事があり、また、一部の整腸剤にも加えられている。したがって、VREの生物学的な特徴は一般の腸球菌と何ら変わらず、健常者に「感染症」を引き起こす事は極めて稀であり、一部マスコミ等で「最強のバクテリア」と紹介されたが、この点は全くの誤解である。しかし、腸球菌の一種である*Enterococcus faecium*などは術後の心内膜炎などの原因菌となりうる事が指摘されており、その意味では全くの非病原菌ではない。

VREとして臨床上問題にされ、院内感染対策の対象となっているのはvanAまたはvanB遺伝子を保有する腸球菌である。一方、vanC型VREは今のところ、欧米でも重篤な感染症を引き起こしたとの報告は稀であり、また、健常者でも入念に検査した場合少なくとも数%から分離されると言われており、「常在菌」的性格も強く、院内感染対策の対象にはなっていない。しかし、感染症法では、vanC型のVREによる重症感染症の発生状況を正確に把握するため、血液や髄液など通常無菌的であるべき臨床材料からvanC型VREが分離された場合には報告が求められている。最近、国内でVCM高度耐性のvanD型VREが分離され報告されているが、海外から報告されているvanE、vanG型のVREは臨床分離例も少なく、それらの臨床的な意義や動向は十分に把握されていない。

既に厚生労働省の調査結果から、海外から輸入されている鶏肉の一部がvanA型VREに汚染されていたことが明らかとなっており、国内でのVRE対策上無視できない問題となっている。したがって、厚生労働省から鶏肉の生産国や輸出国に対し、家畜へのアボパルシンの使用制限や飼育環境の衛生上の改善などの申し入れが行われ、事態の改善が図られている。

表1. バンコマイシン耐性腸球菌の種類と特徴

クラス	耐性に関連する遺伝子	耐性遺伝子の所在	院内感染対策の必要性	耐性の誘導現象	感受性 (MIC, μ g/ml)		菌種
					VCM	TEIC	
A	vanA	plasmid	あり	あり	64	16	<i>E. faecium</i> <i>E. faecalis</i>
B	vanB	主に染色体 まれにplasmid	あり	あり	16～64	1	<i>E. faecium</i> <i>E. faecalis</i> <i>E. gallinarum</i>
C	vanC	染色体	なし*	なし	4～32	1	<i>E. gallinarum</i> <i>E. casseliflavus</i> <i>E. flavescens</i>
D	vanD	染色体?	あり?	?	64	4	<i>E. faecium</i>

平成8年度 厚生科学特別研究事業 バンコマイシン耐性菌研究班
薬剤耐性菌対策に関する専門家会議 報告書(平成9年3月)表4を一部修正の上転載

* 複数の患者から頻回に分離される場合は、背景に耐性菌の院内伝播が起きやすい状況があることが懸念されるため、実施されている院内感染対策の基本的事項の再チェックが必要な場合もある。

臨床症状

VREが健常者や感染防御機構の正常な患者の腸管内に感染または定着しても、下痢や腹痛などの症状を呈することはなく、無症状である。事実、国内の多くの分離例が無症状者の便や尿などから偶然に分離されたものである。したがってそのような場合、無症状の保菌者となり、長期間にわたってVREを排出し続け、周囲の患者にVREを感染させていた事例も海外でしばしば報告されている。

VREにより術創感染症や膿瘍、腹膜炎、敗血症などを生じた症例では、患部の発赤などの炎症所見、発熱などの全身所見など一般的な細菌感染症の症状が見られる。

しかし、VREが血液などから分離されるような感染防御能が全般的に低下した状態の患者では、MRSA、緑膿菌、大腸菌など病原性の強い他の細菌が同時に混合感染を起こしていることも多く、それらの菌による症状が前面に出る場合が多い。

病原診断

薬剤感受性試験

感染症法では、各医療施設において日常的に実施されている分離・同定試験や薬剤感受性試験法により、腸球菌であって、VCMに対する判定結果が、MIC値で 16 µg/mlと判定された症例について届け出を求めている。ただし、NCCLS(米国臨床検査標準化委員会)の判定基準では、VCMのMICが 32 µg/mlを「R:耐性」としているが、この基準では一部のvanAやvanB型VREを見逃す可能性があるため、感染症法では暫定的に、VCMのMIC値が 16 µg/mlである腸球菌についての報告が求められている。

PCRによる判定

VCMに耐性を示す腸球菌で、vanA、vanB遺伝子に特異的なプライマーを用いたPCR検査により、特異的なバンドが検出された場合。

【註】

Disk拡散法によるVREの型別の推定方法やPCRの具体的実施方法については、<<http://idsc.nih.go.jp/others/vre2.html#van>>に紹介されているので、参考にされたい。

市販のVRE選択培地で分離を試みた場合、VCMに生来耐性を示す、*Leuconostoc* 属、*Pediococcus* 属、*Lactobacillus* 属なども分離されることがあり、VREとの鑑別が必要である。

治療・予防

VREが便や尿から分離されたのみで症状を呈さない、いわゆる定着例と判断される症例に対しては、VREを除菌する目的での抗菌薬の投与は通常行わない。

VREによる術創感染症や腹膜炎などの治療は、抗菌薬の投与とともに感染巣の洗浄やドレナージなどを適宜組み合わせで行う。

抗菌薬の選択に関しては、薬剤感受性試験の結果を参考に、国内で入手が可能で有効性が期待できる抗菌薬の中から患者の症状や基礎疾患などを考慮し、最も適切な薬剤を選択する。

また、VREと同時にMRSA、緑膿菌、大腸菌、肺炎桿菌などが分離される場合で、それらが症状の主因と考えられる場合には、それらの菌に対する治療を優先することも必要である。

予防手段としては、感染者(保菌者)、排菌者からの菌の伝播を防止することを第一とする。VREを排菌している患者の介護や処置などの際に、汚染されている便や尿、ガーゼ、喀痰、膿などの処理に特に留意し、医療職員や介護者の手指や医療器具などが汚染されないよう注意する。

VREを排菌している患者を擁する医療施設では、「排菌者の隔離」というよりは、手術などを予定しているハイリスク患者へVREを伝播させないため、「ハイリスク患者の逆隔離」的な対策も重要である。

感染症法における取り扱い

バンコマイシン耐性腸球菌感染症は4類感染症全数把握疾患であり、診断した医師は7日以内に最寄りの保健所に届け出る。届け出のための基準は以下の通りである。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下のいずれかの方法によって病原体診断がなされたもの

1) vanA、vanB型

・病原体の検出

血液、腹水、胸水、髄液など通常は無菌的であるべき臨床検体から分離された菌(当面は、便や尿から分離されるなど定着例が疑われるものを含む)で、以下の検査室での判断基準を満たすもの

バンコマイシン(VCM)のMIC値が 16 µg/ml、あるいは分離菌におけるvanA、vanB遺伝子の検出

なお、バンコマイシンに生来耐性を示す *Lactobacillus*、*Pediococcus*、*Leuconostoc*、*Lactococcus* などとの鑑別が必要である。

2) vanC型

報告対象

・血液、腹水、胸水、髄液など通常は無菌的であるべき臨床検体から分離された菌であつて、vanC型遺伝子が検出されたもの

(国立感染症研究所細菌第二部 荒川宜親)



読者のコーナー

Q: ポリオの件ですが、感染症情報センターのHPによりますと、昭和50年から52年生まれの人の抗体価が低いとありますが、その元データである図を見ますと、たしかに1型はそれでいいようですが、3型の場合は1970年(昭和45年)から77年(52年)にわたって抗体価が低いように思われます。現在その年代の母親が多いと思われるのですが、親にも子供と一緒にワクチンを勧めたほうがよいでしょうか。またその場合は、対象は昭和50～52年生まれなのか、昭和45～52年生まれなのか、また、子供にポリオワクチンを接種している保健所では対応可能なのでしょうか？
(東京都小児科医 U.T.)

親子のポリオワクチン接種について

昭和50～52年生まれの方にはポリオワクチンの接種をすすめています。それは、まさしく先生ご指摘の1型の抗体保有率がこの年代で低いという結果からです。(3型は比較的問題が少ない)

1型と2型は、2回接種をしていればほぼ100%に近い人が抗体を獲得しますが、3型については先生のおっしゃるとおりで2回接種をすませても、抗体を獲得していない人もあり、この3年間に生まれた人に限ったことではありません。

少し前になりますが、平成9年度伝染病流行予測調査によると、「0～5歳における抗体獲得率は、1型では1回投与ですでに92.3%、2回投与では99.4%が抗体陽性となった。2型ではそれぞれ89.7%、100%である。これに対して3型は、1回投与ではわずかに15.4%であり、2回投与でも85.8%(前回は92%)であった。また、2回投与後64倍以上の高い抗体保有者が1、2型は90%以上であったのに対し、3型では46.9%にすぎなかった。」とあります。さらに詳しい情報は、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)の「免疫状況」をご参照下さい。

生ポリオワクチンの優れた効果により、日本を含めた西太平洋地域では根絶宣言がなされています。日本のような地域では、生ポリオワクチンをのんだ子供からその親にワクチンウイルスが感染し、麻痺を生じた例が極めて少ないながらも報告され、問題になっています。ただし、ポリオはまだ世界レベルでは根絶されてないため、野生株ポリオの発生を根絶状態で維持するためには、ワクチン接種率を現状通り高く保っておくことが重要と考えます。

現在、昭和50年～52年生まれの人に接種を勧奨していますが、接種は任意接種となります。子供と同様に保健所では対応可能かどうかはそれぞれの市区町村によって対応が異なるため、お住まいの市区町村に問い合わせてみることをお勧めしています。定期接種対象年齢以外の者については、予防接種センターのようなところで接種をしている地域が多いように思います。

親にも子供と一緒にワクチンをのんでもらうというのは、子供がのんだワクチン株が便中に排泄され、それが親に感染し稀に麻痺をおこすという状況を減らすと考えられます。それ以外にも、便の取り扱いをきちんとしてもらい、おむつを替えた後の手洗いをしっかりするよう指導することが重要と考えます。特にポリオ抗体価が全く陰性の人では、子供が生ポリオワクチンをのむことになった場合、ポリオが流行している地域に渡航する場合などに、接種することが強く勧められます。

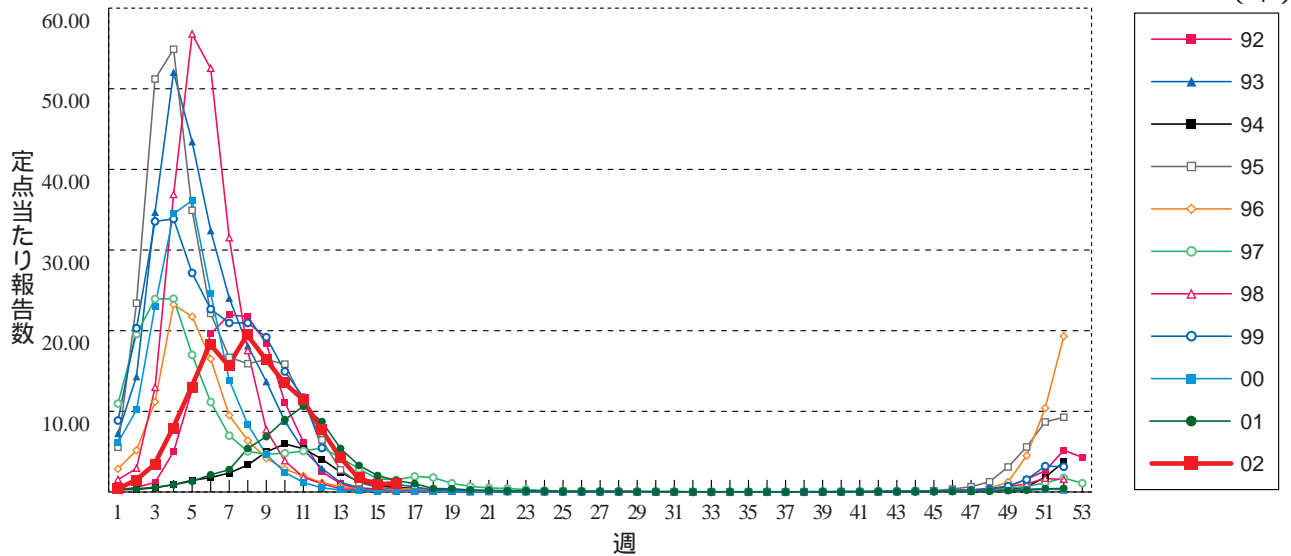
(国立感染症研究所感染症情報センター 多屋 馨子 岡部 信彦)

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-QをつけてこちらまでEメールでどうぞ。

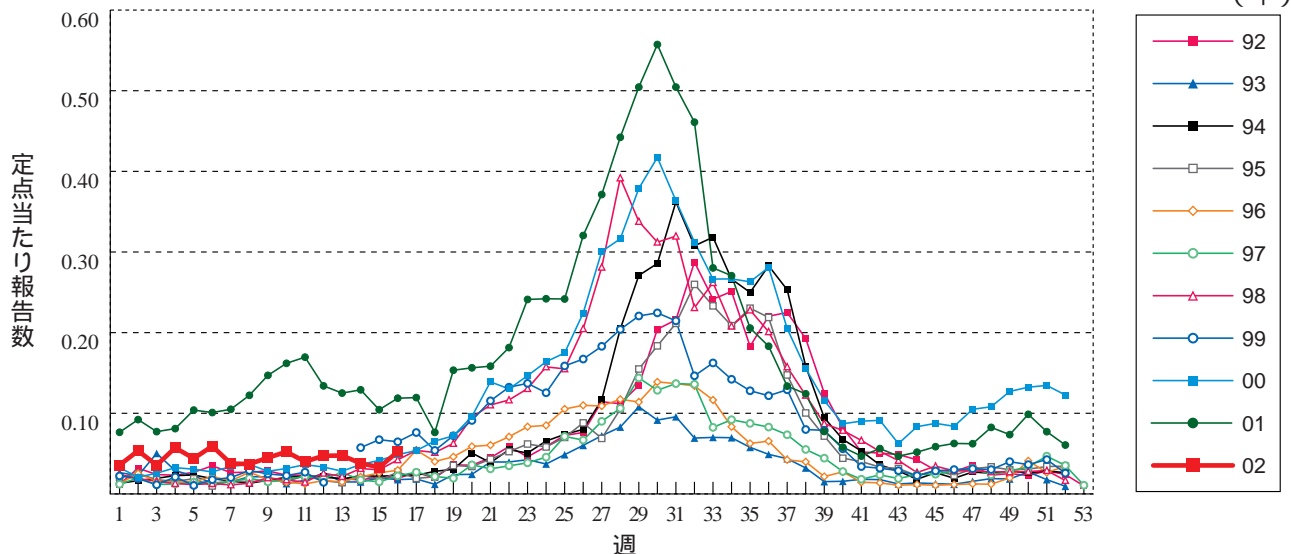
idsc-query@nih.go.jp

グラフ総覧(16週)

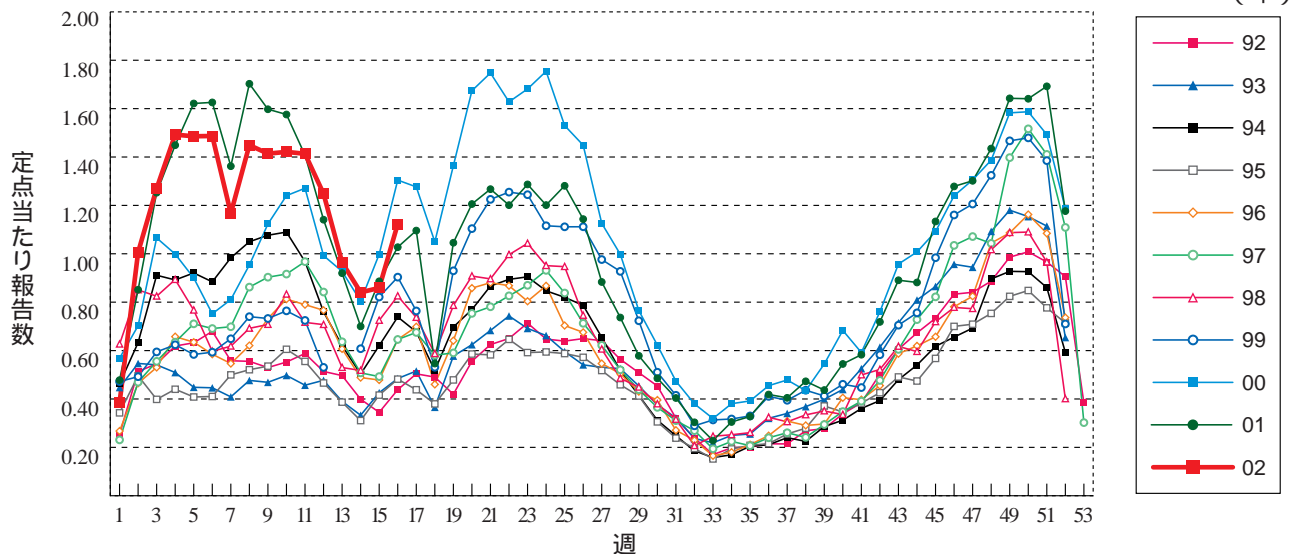
インフルエンザ



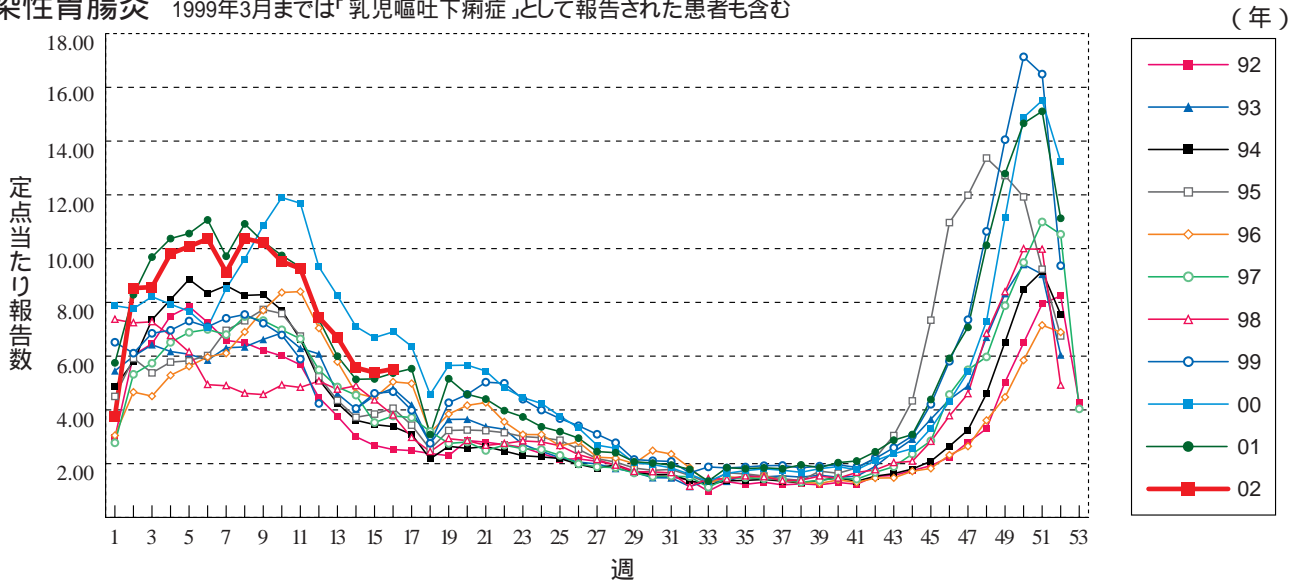
咽頭結膜熱



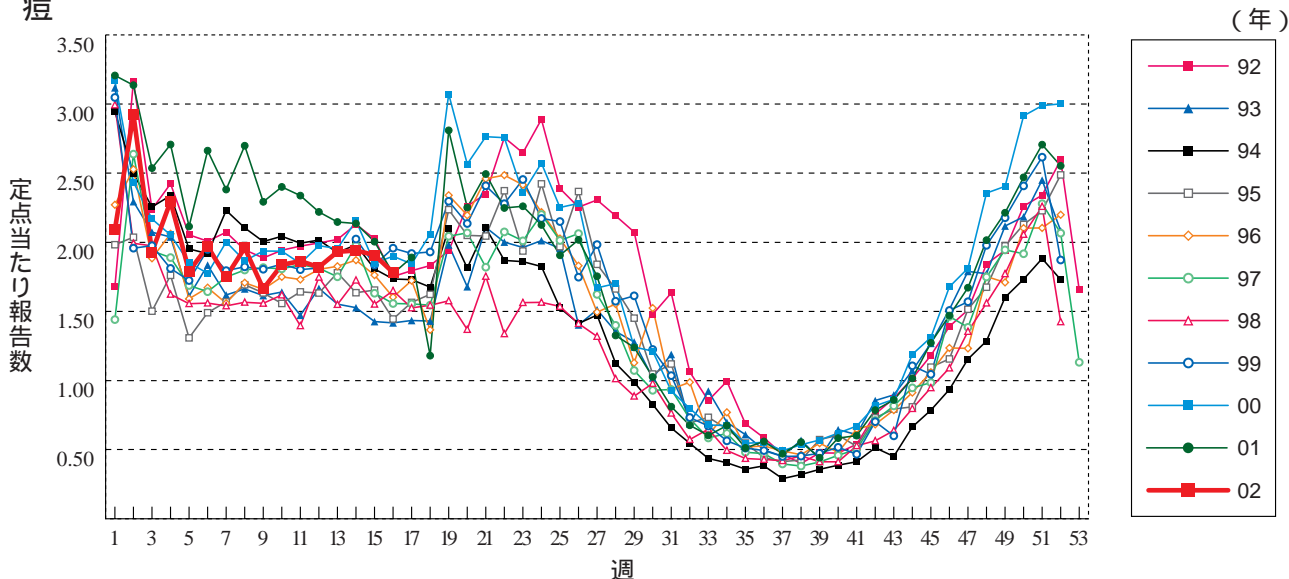
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



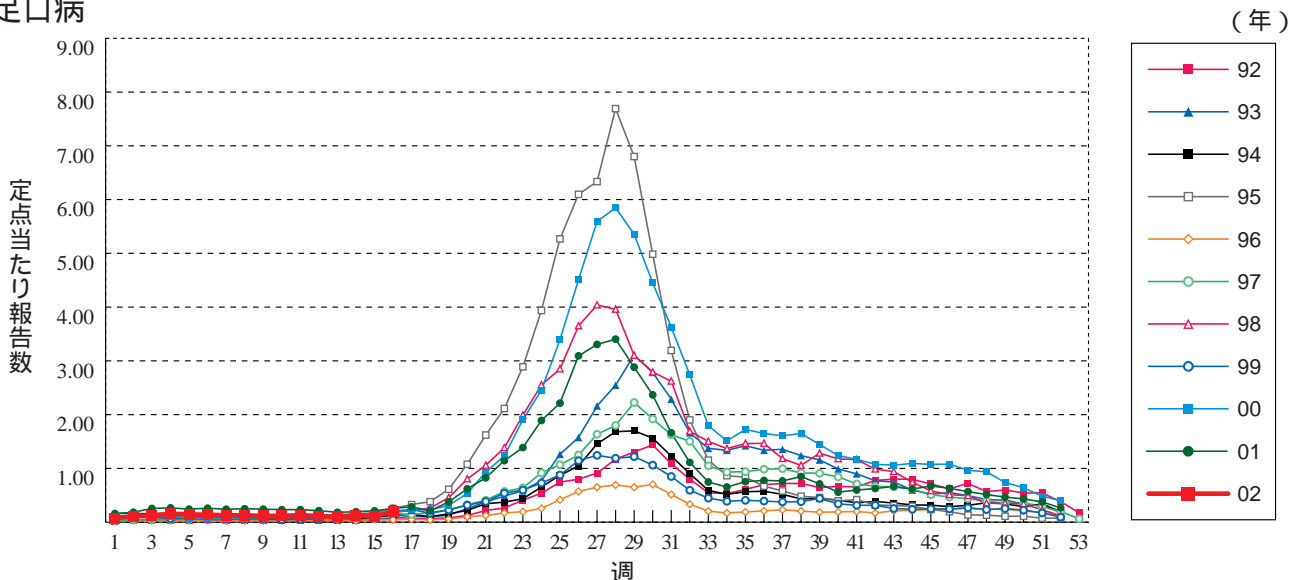
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



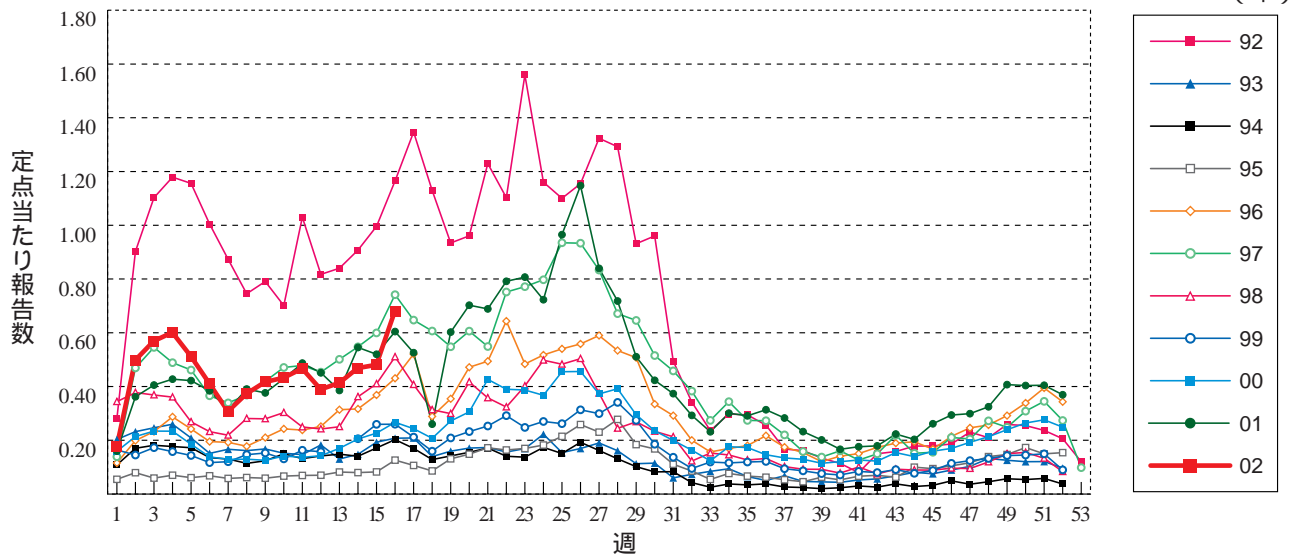
水痘



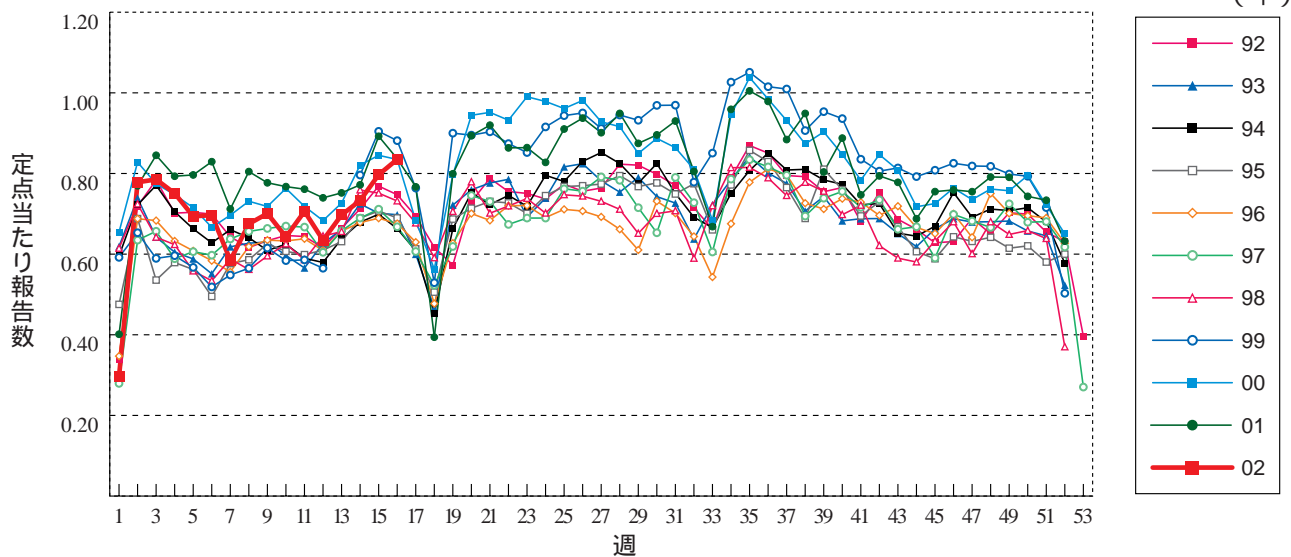
手足口病



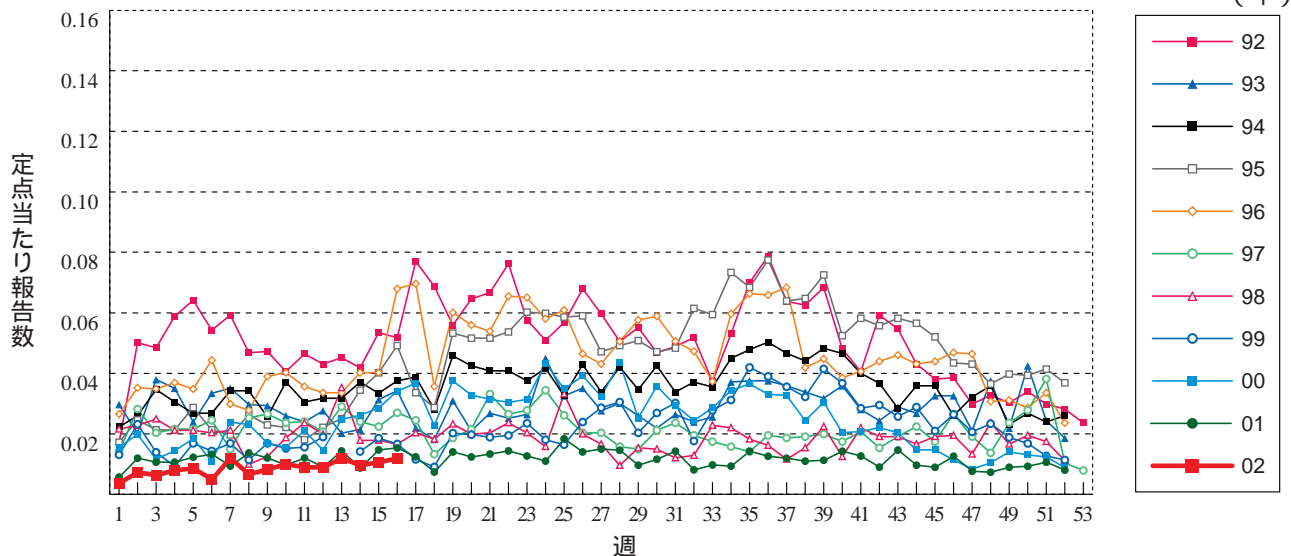
伝染性紅斑



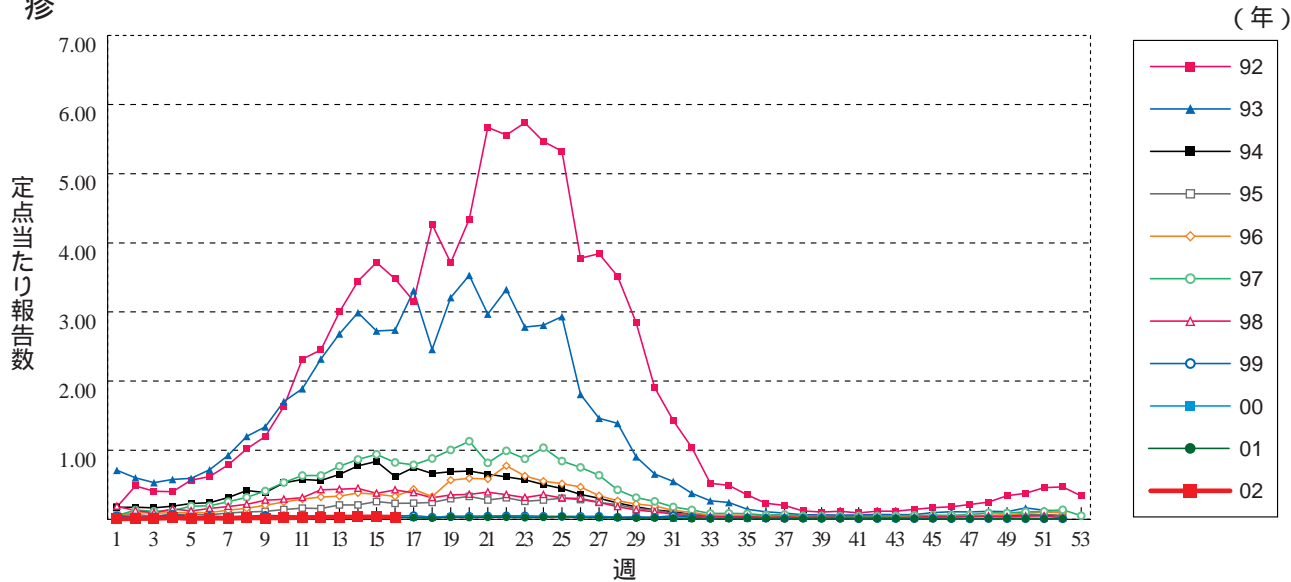
突発性発疹



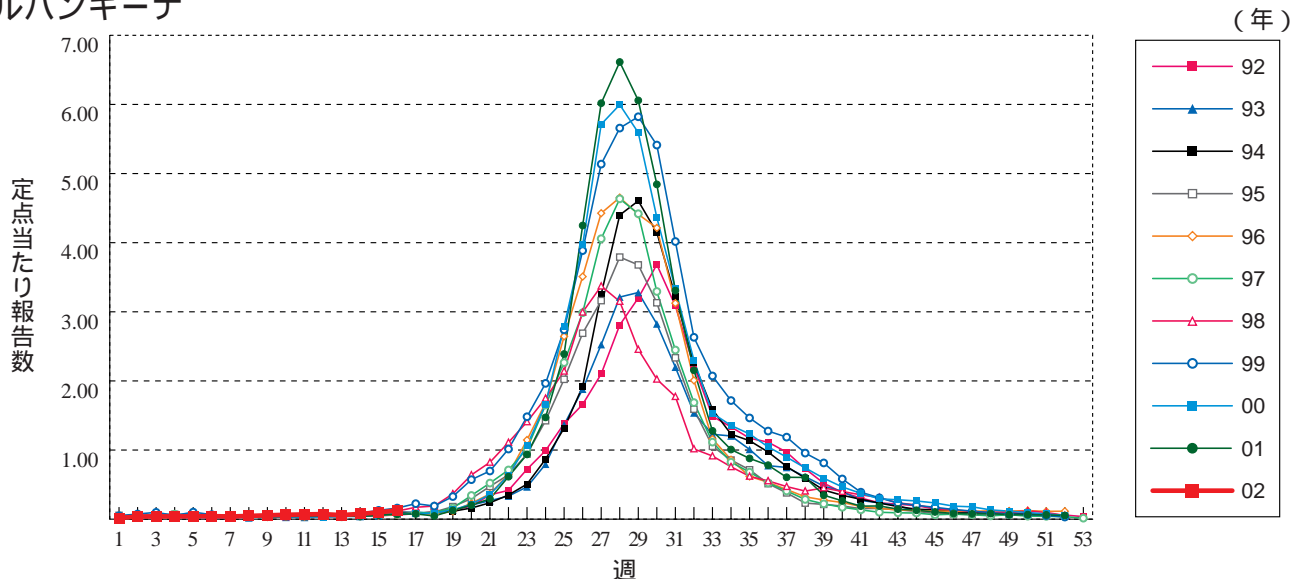
百日咳



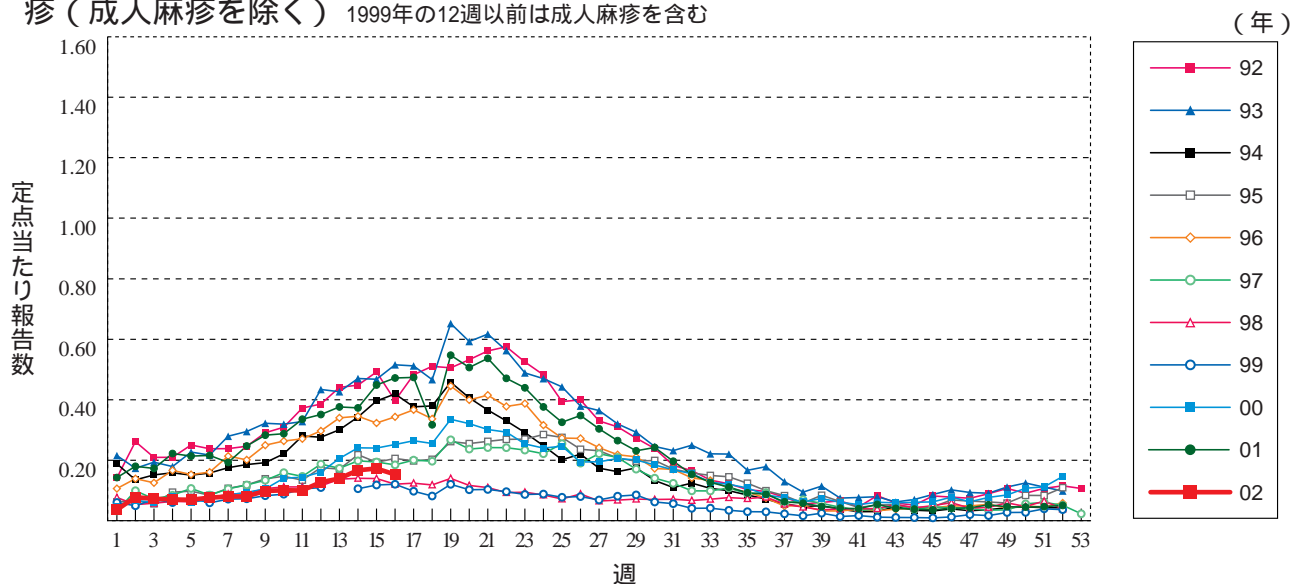
風 疹



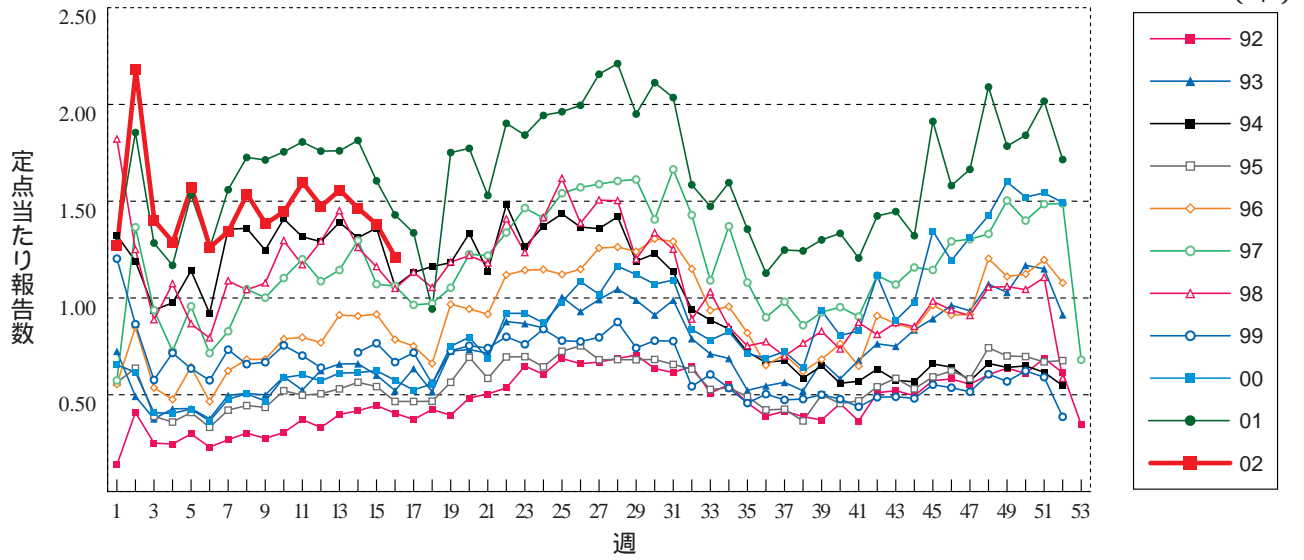
ヘルパンギーナ



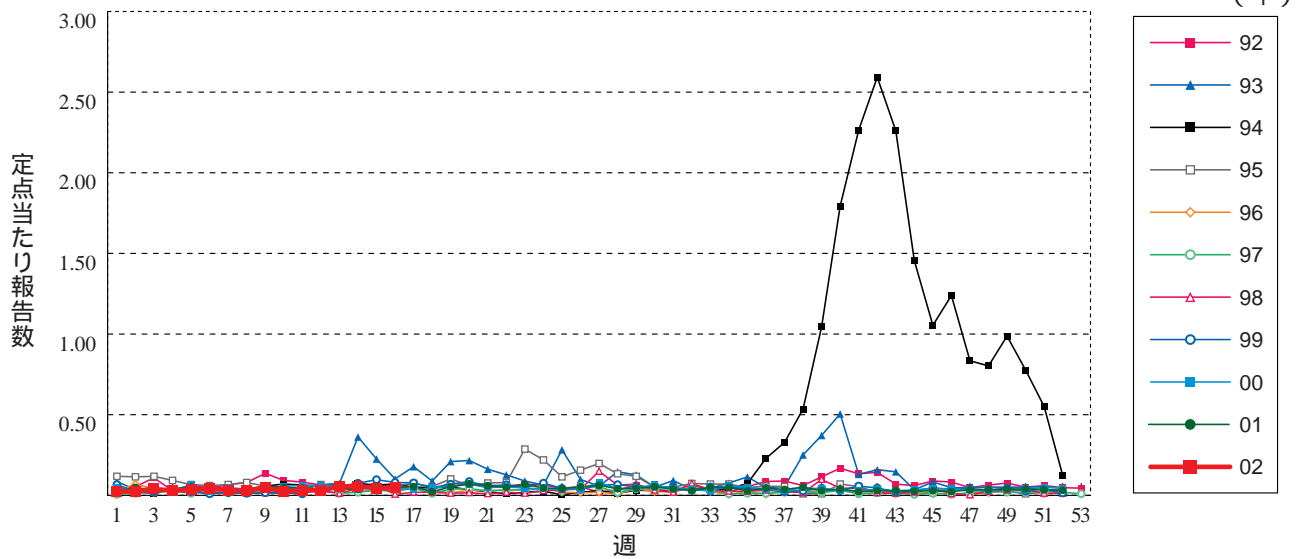
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



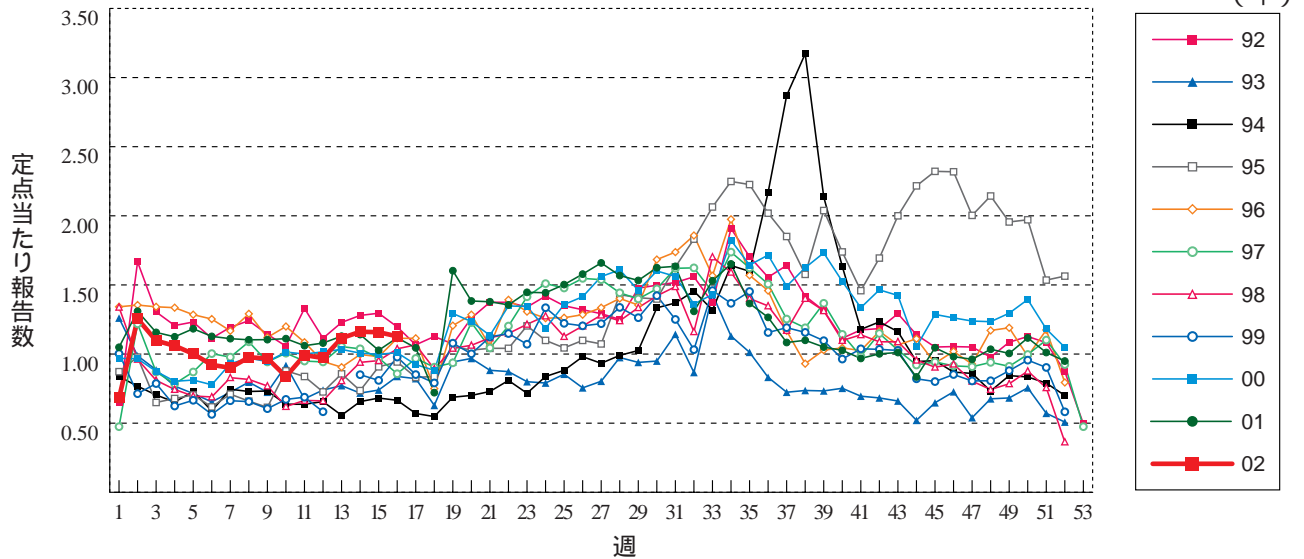
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

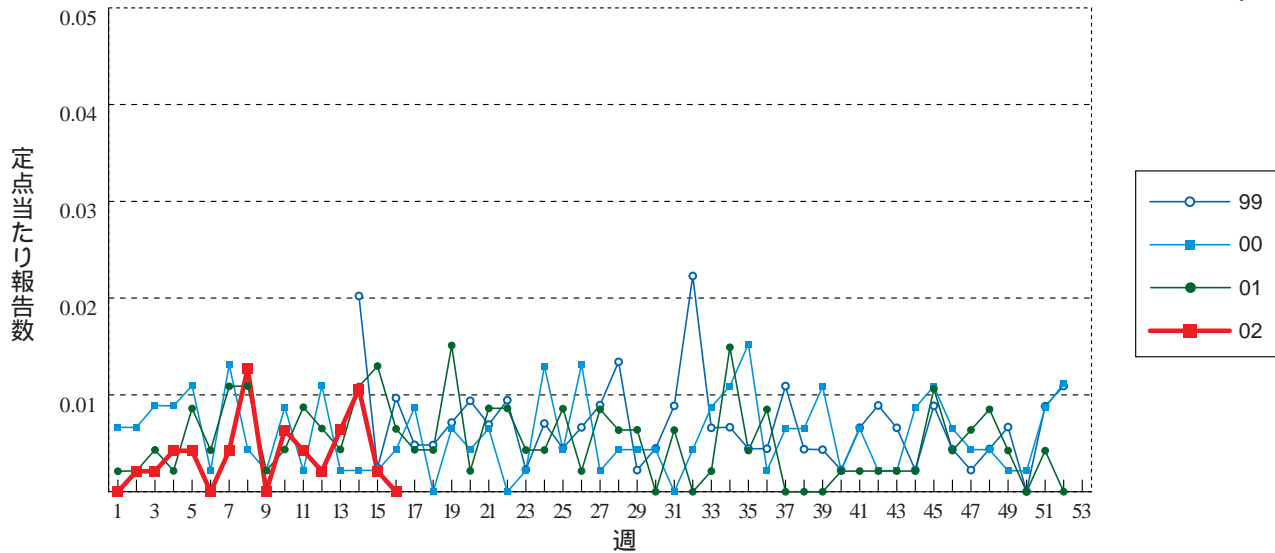


流行性角結膜炎



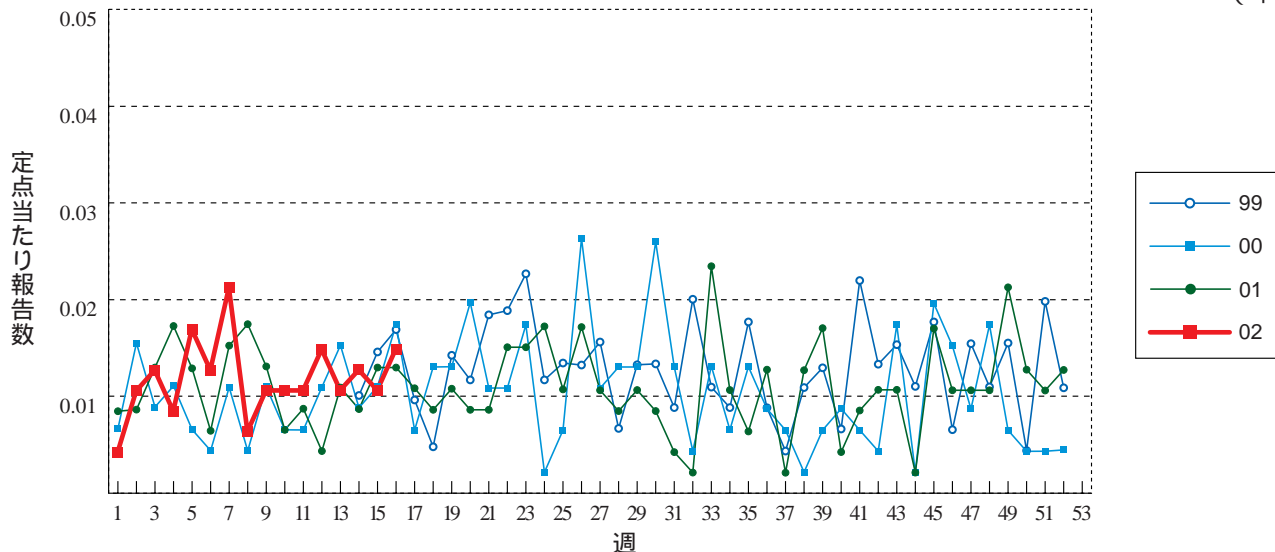
急性脳炎（日本脳炎を除く）

(年)



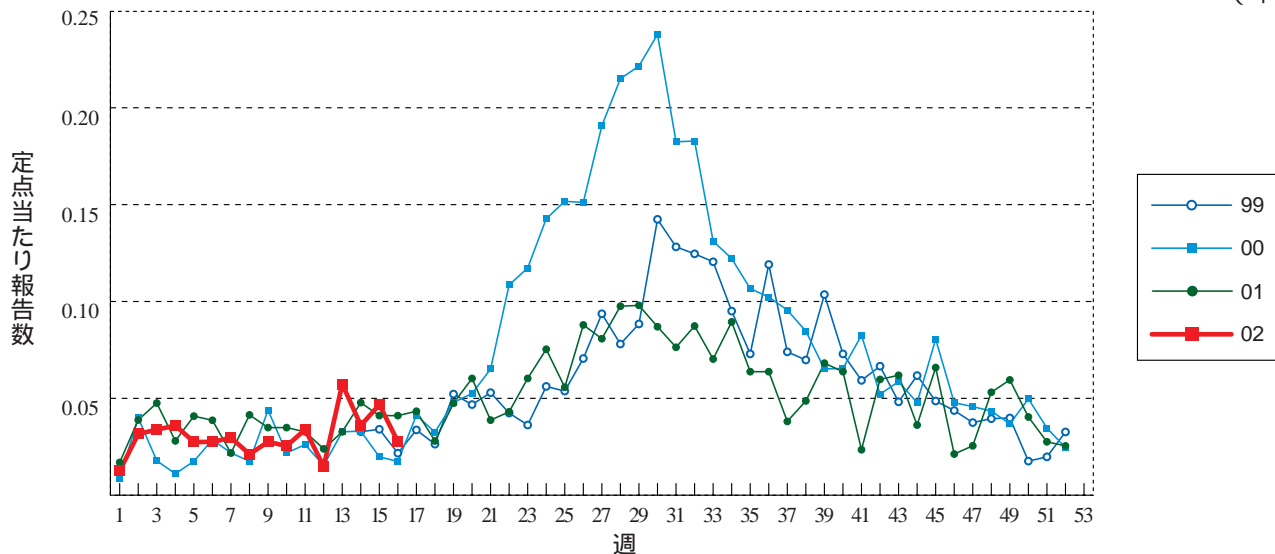
細菌性髄膜炎

(年)



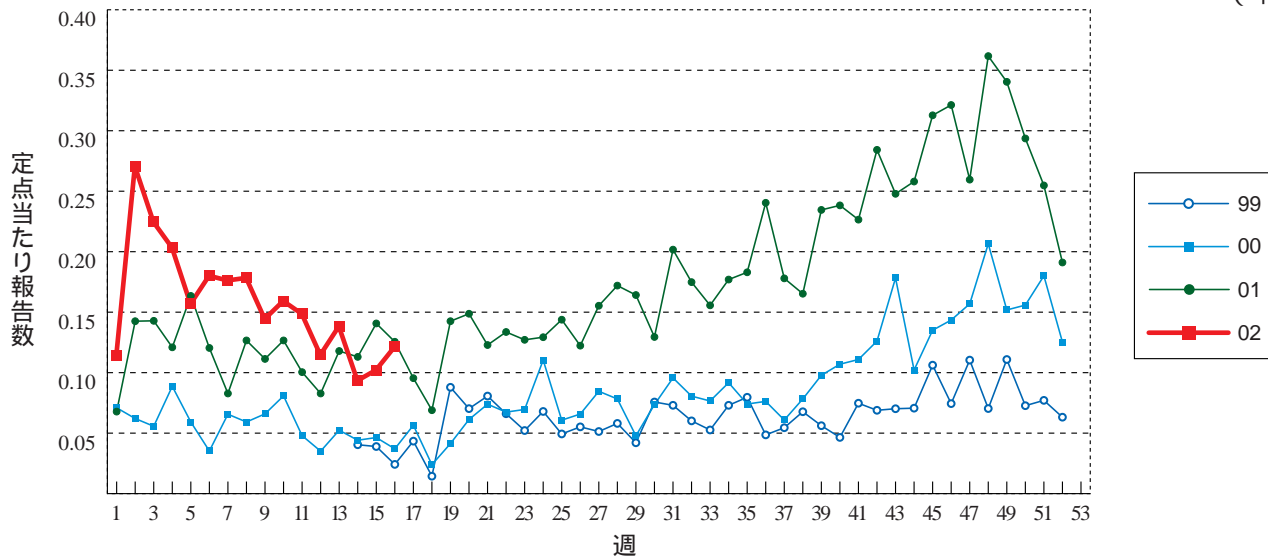
無菌性髄膜炎

(年)



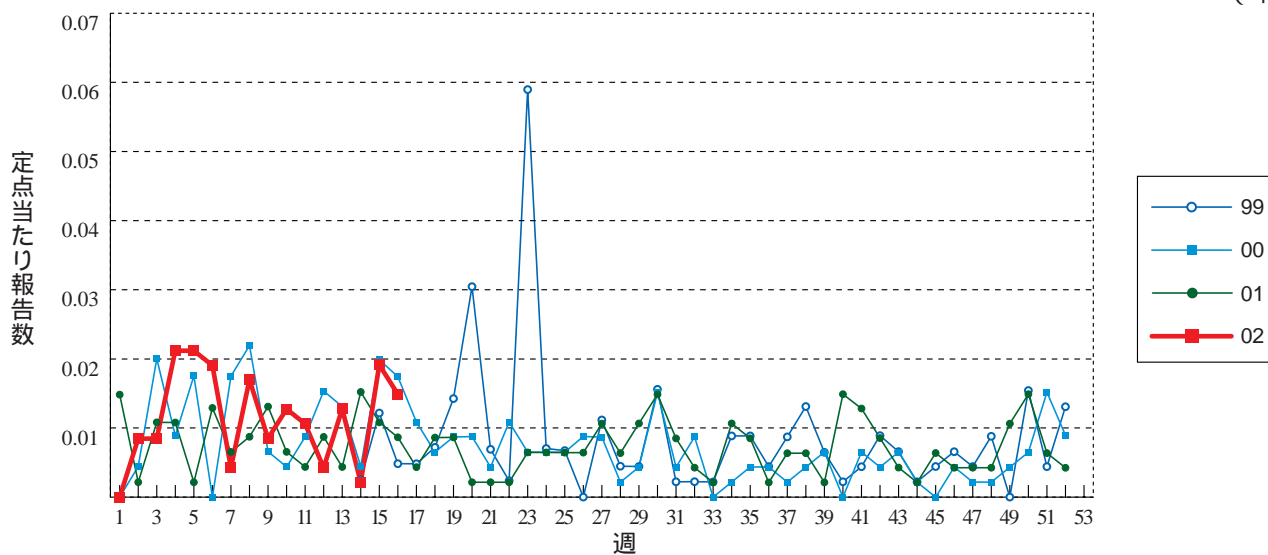
マイコプラズマ肺炎

(年)



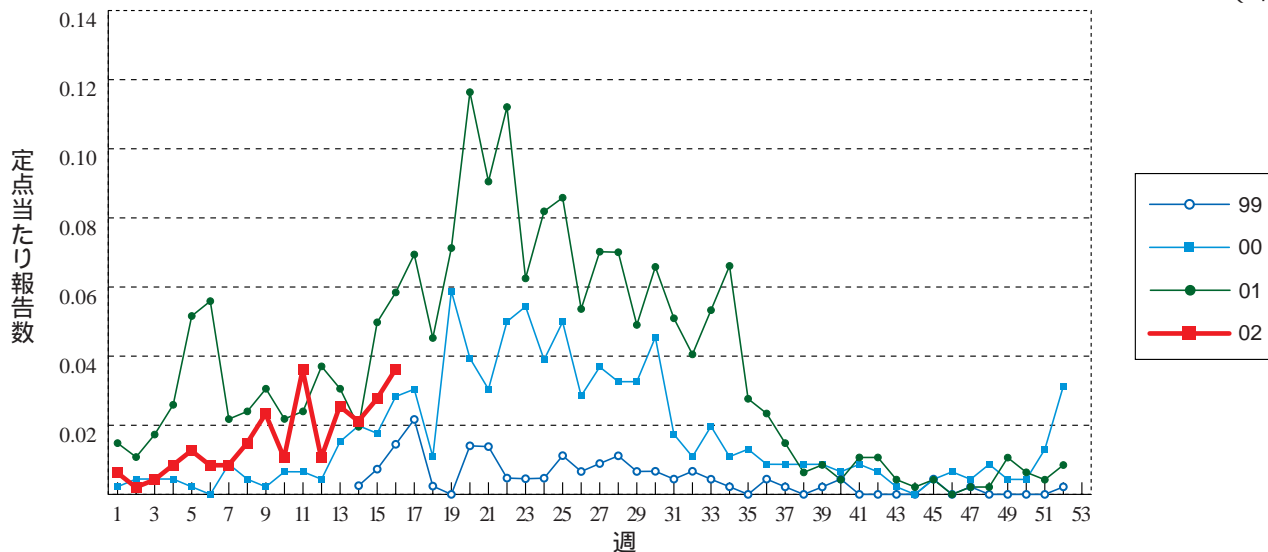
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)

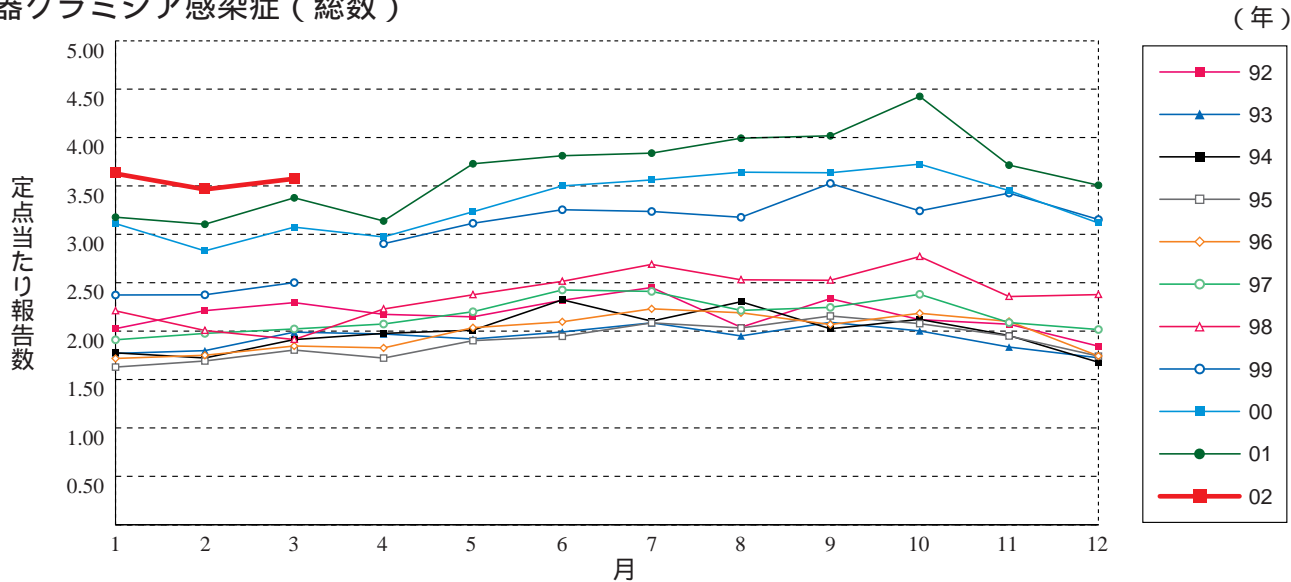




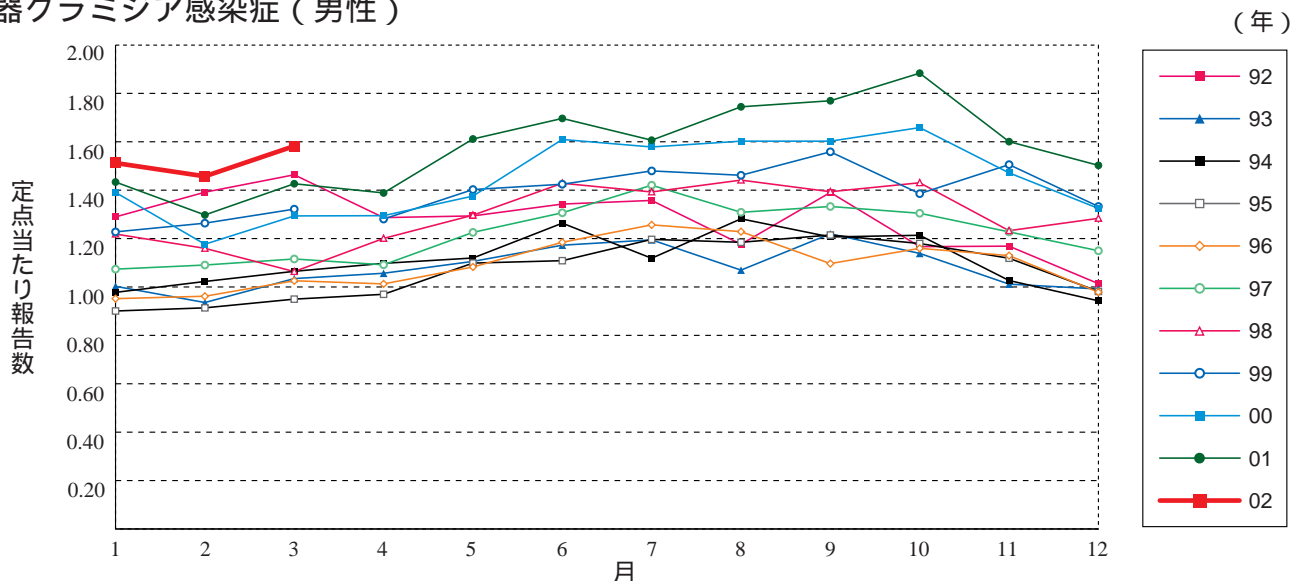
グラフ総覧(3月)

注)1999年4月以降は定点設定が変更されております。

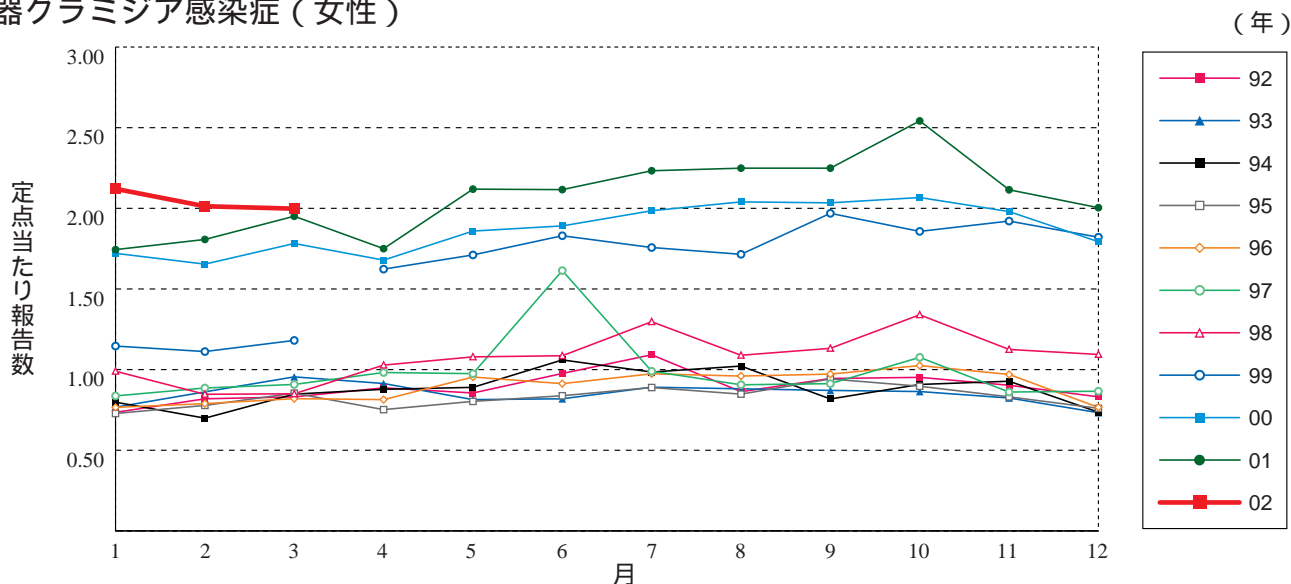
性器クラミジア感染症(総数)



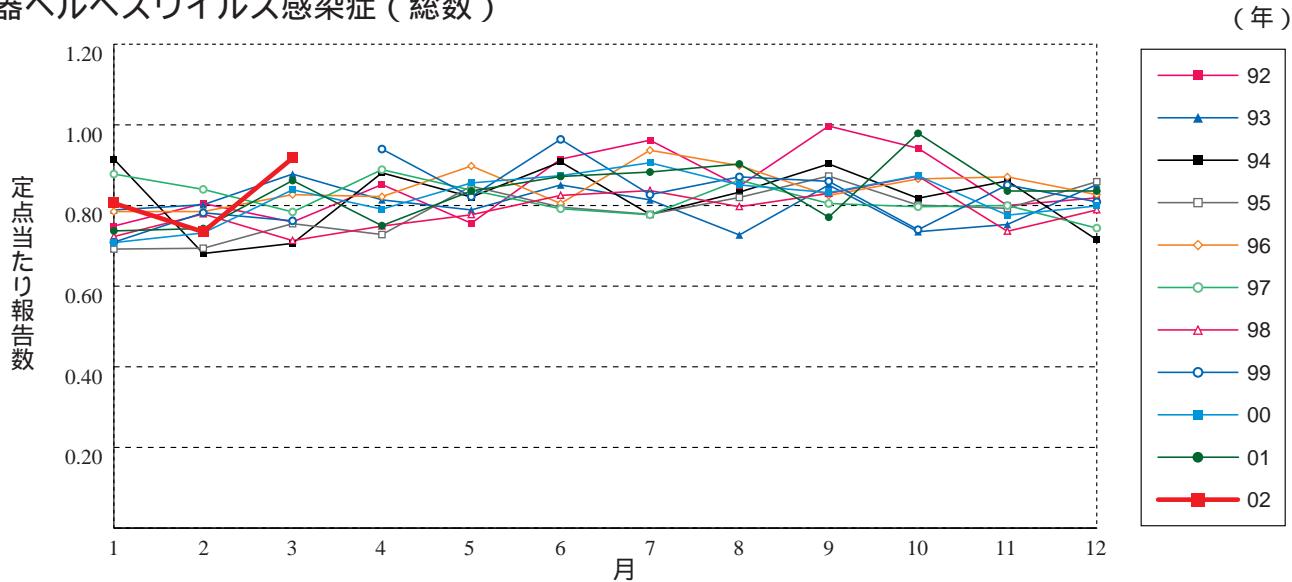
性器クラミジア感染症(男性)



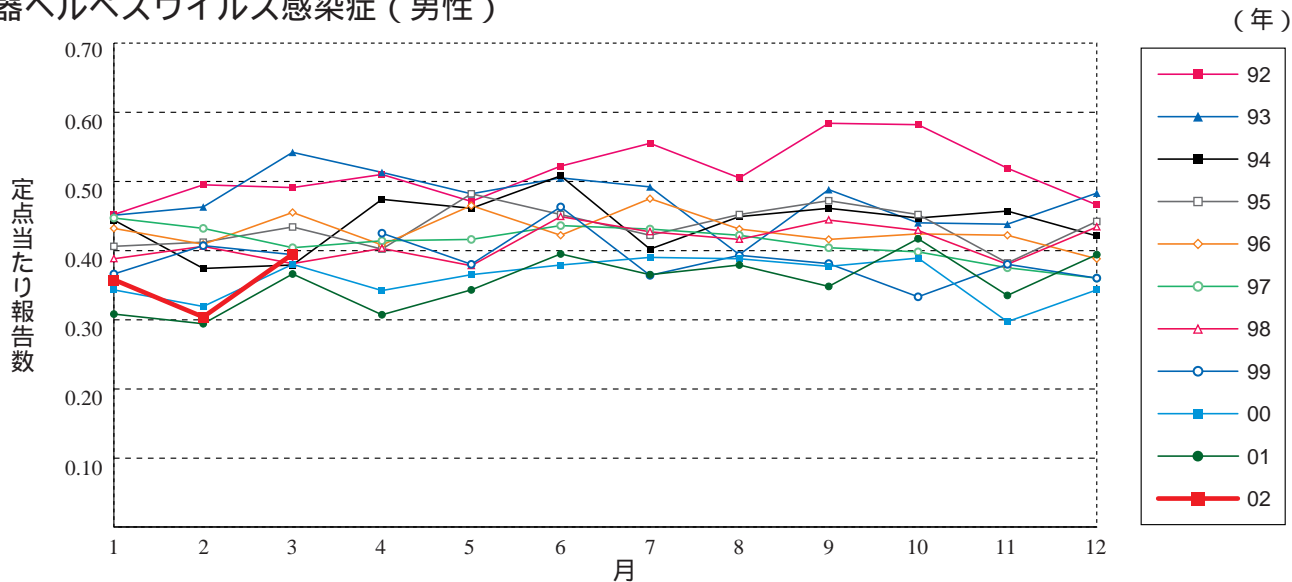
性器クラミジア感染症(女性)



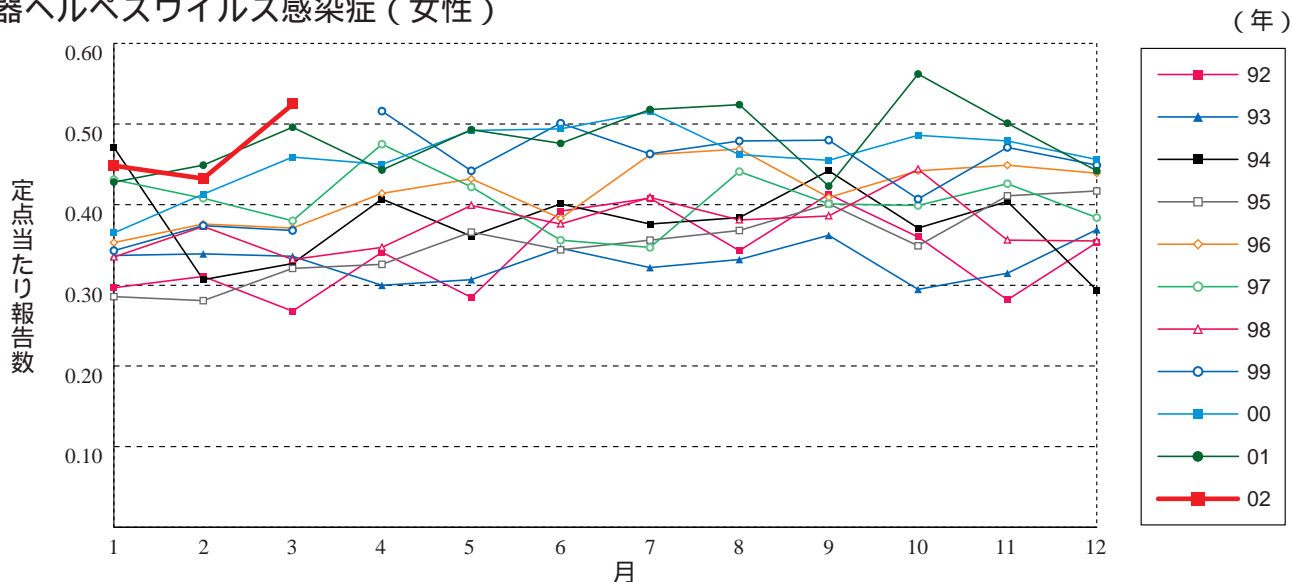
性器ヘルペスウイルス感染症（総数）



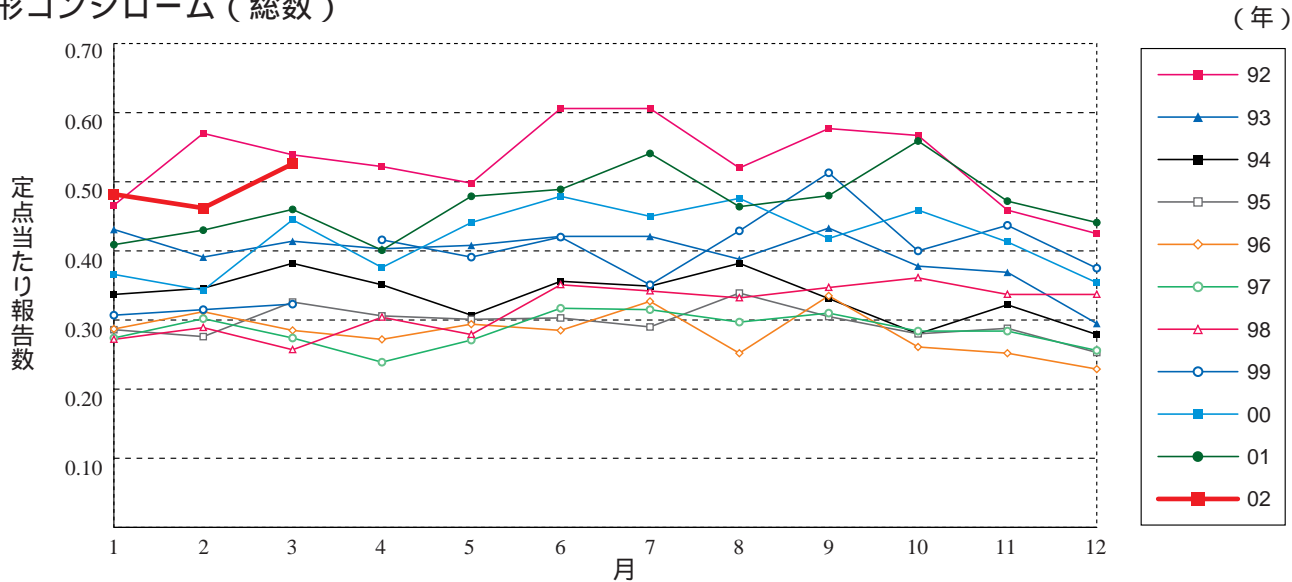
性器ヘルペスウイルス感染症（男性）



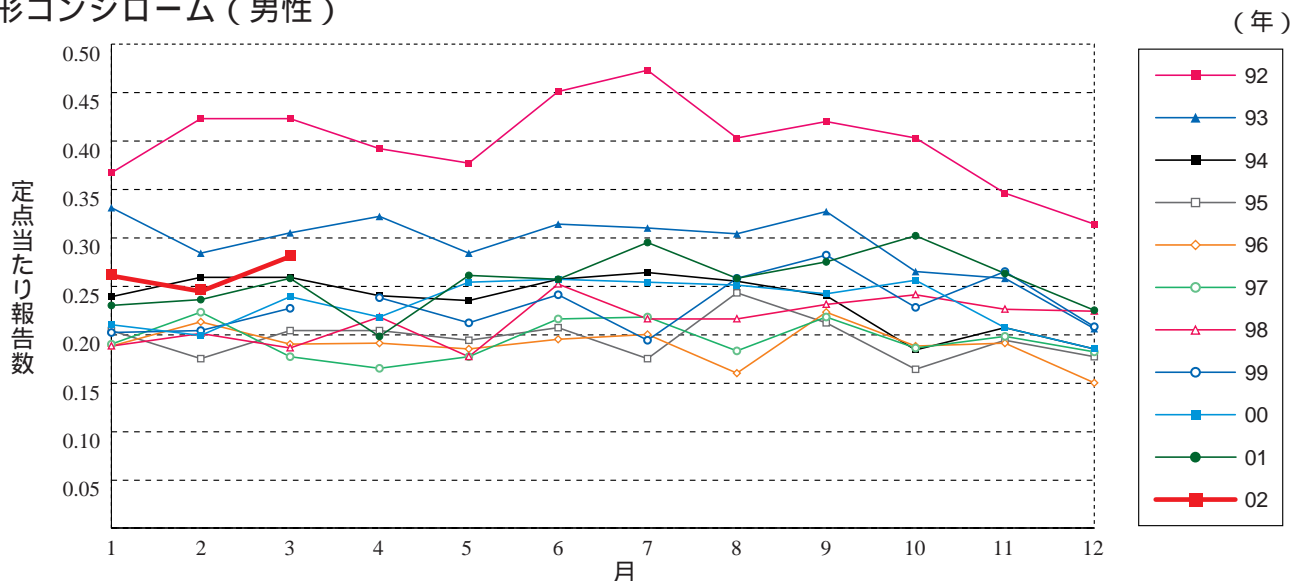
性器ヘルペスウイルス感染症（女性）



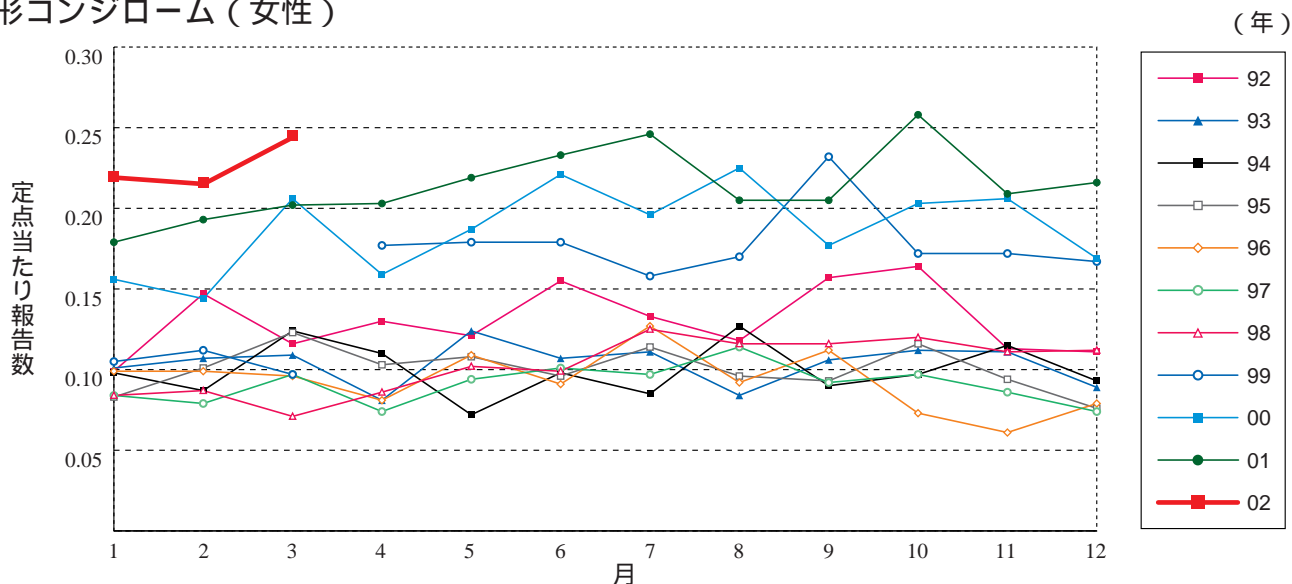
尖形コンジローム (総数)



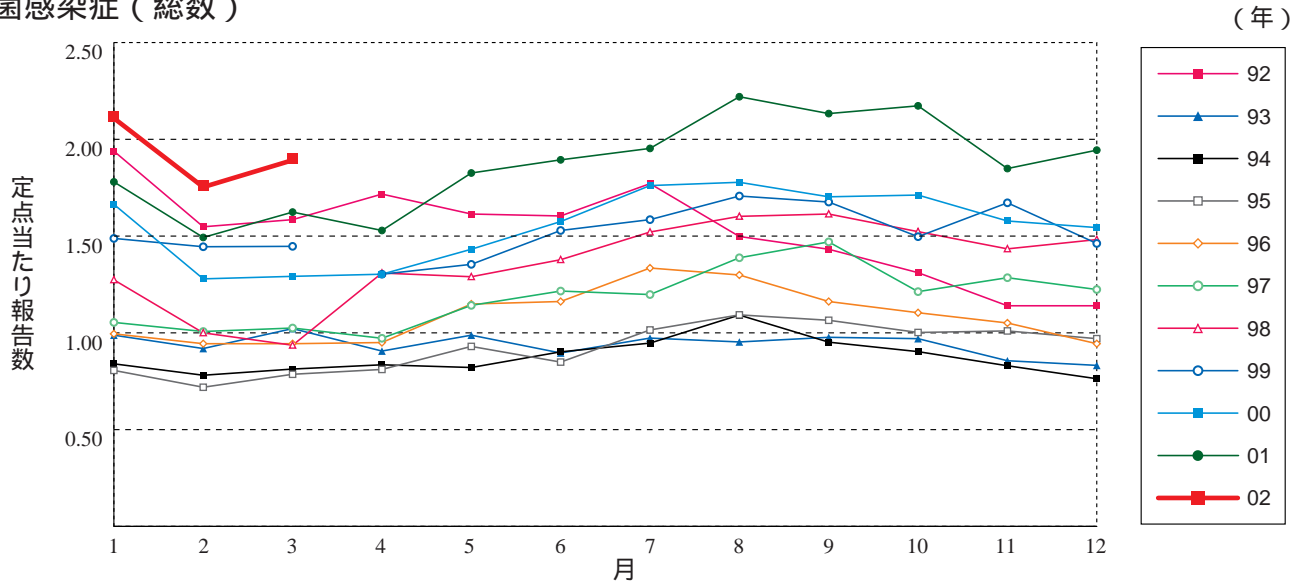
尖形コンジローム (男性)



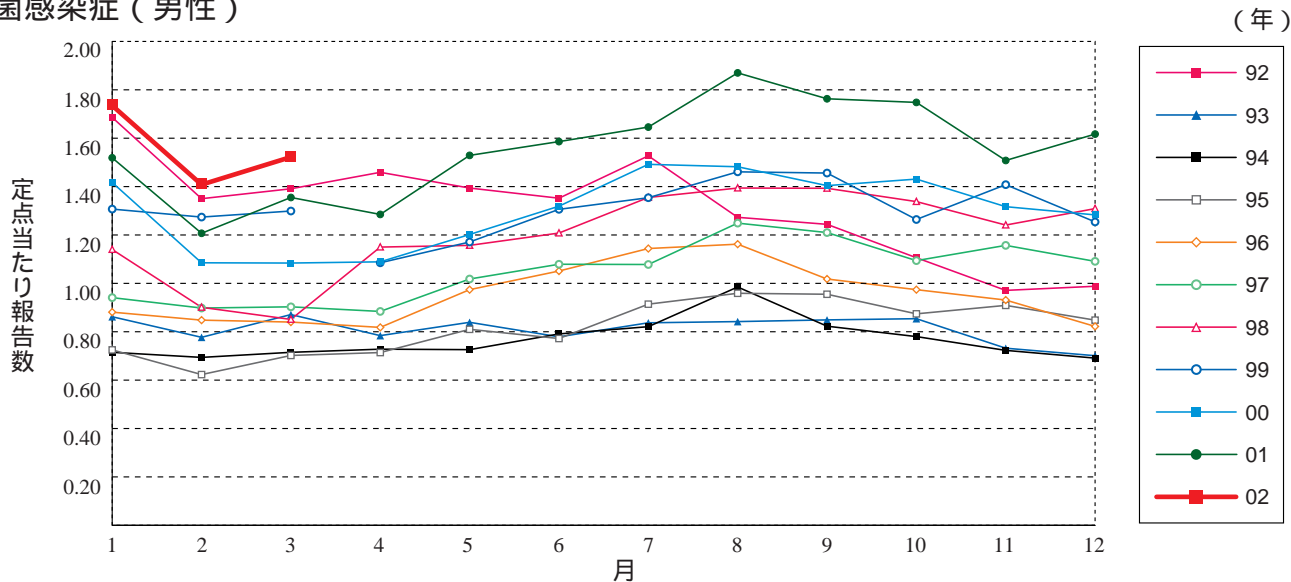
尖形コンジローム (女性)



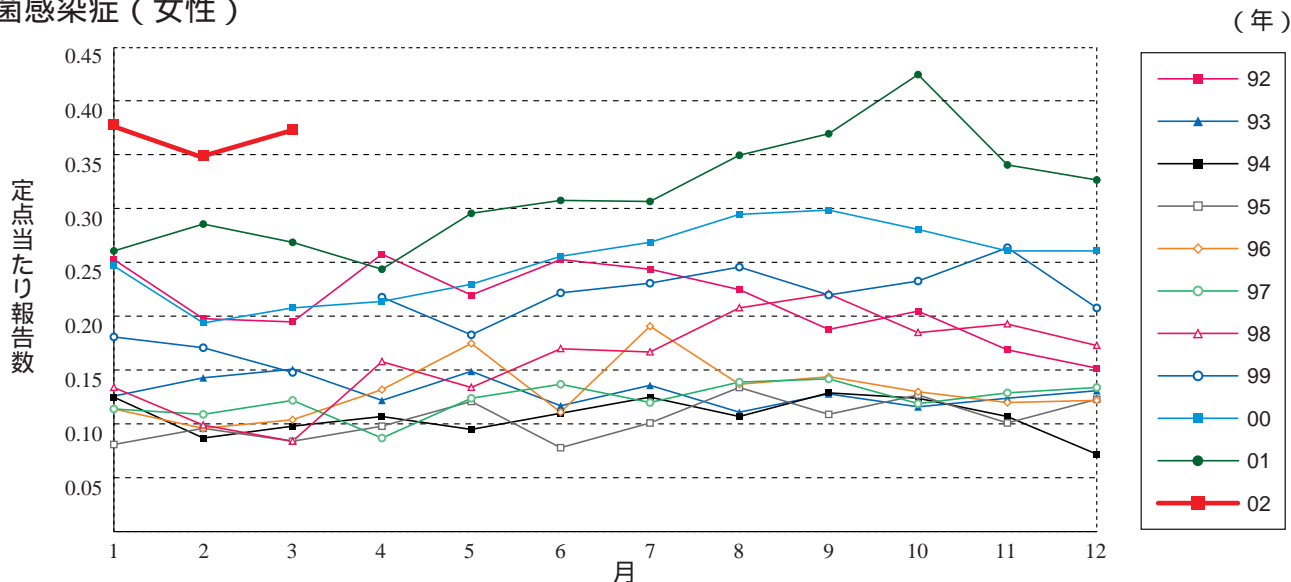
淋菌感染症(総数)



淋菌感染症(男性)

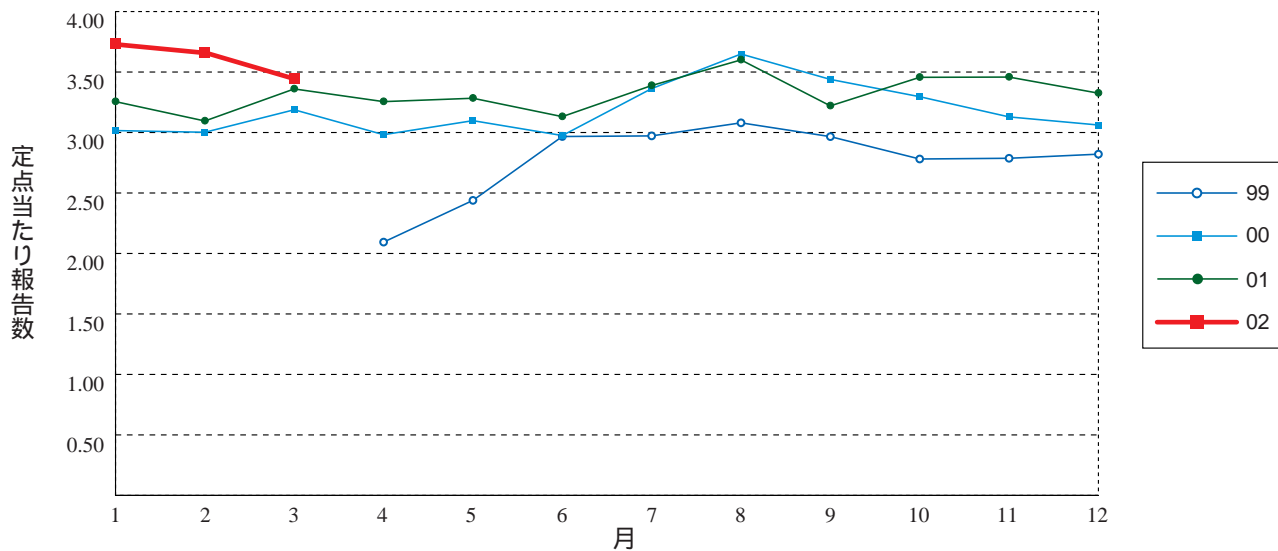


淋菌感染症(女性)



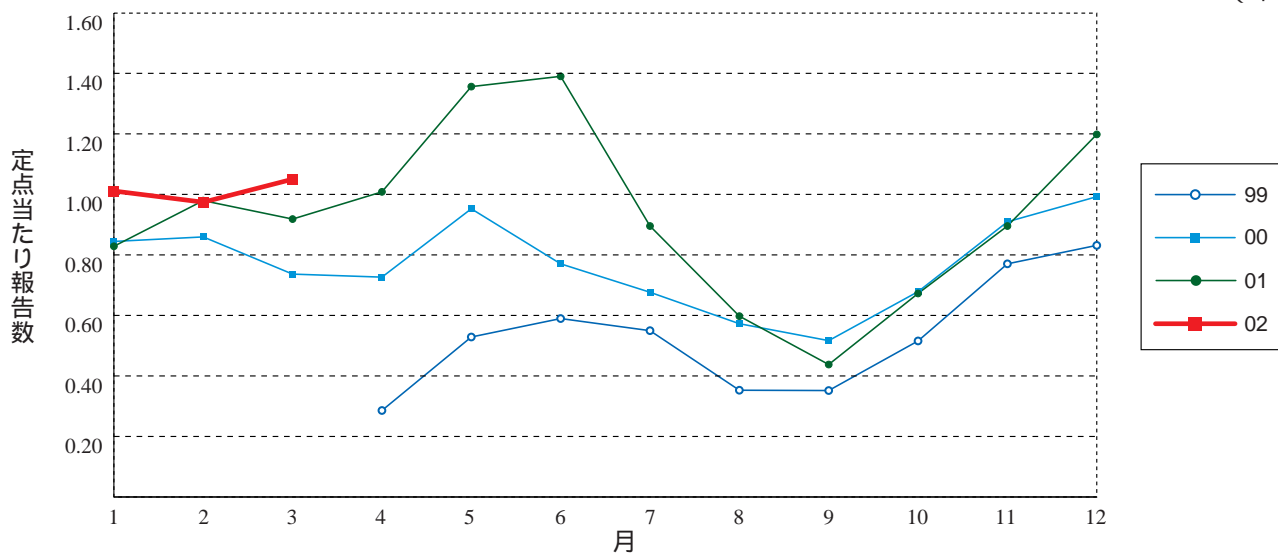
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

(年)



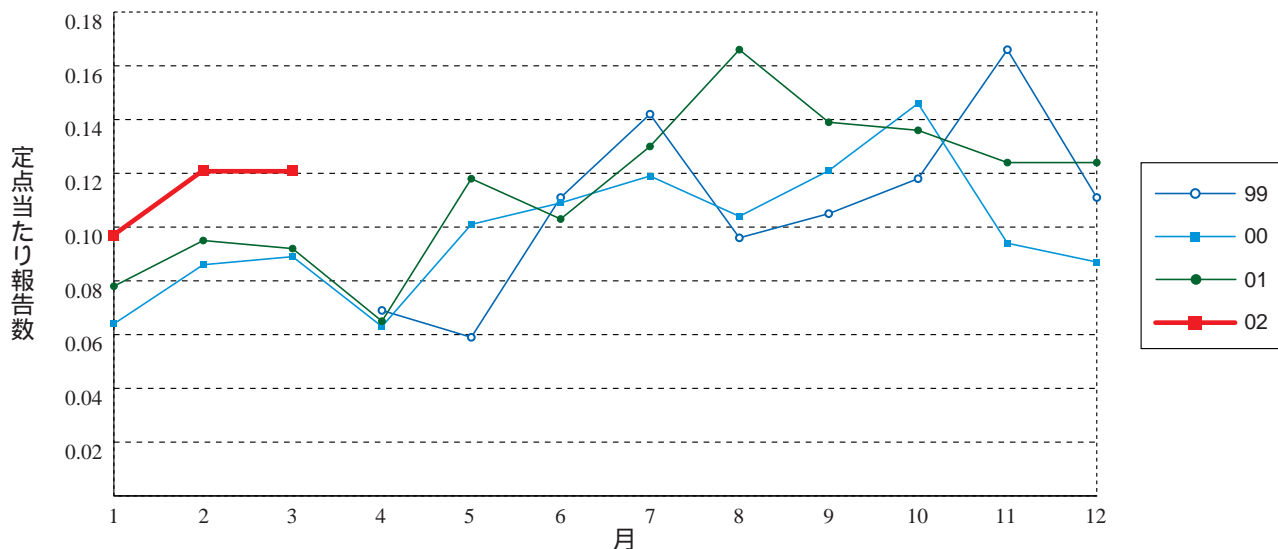
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

(年)



薬剤耐緑膿菌感染症

(年)





3月のデータ

注)表中の報告数は4月11日集計分であり、その後の報告数は次月以降の累計に反映されます。

第3121表 報告数・定点当り報告数，疾病・都道府県・性別（総数）

平成14年3月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	3281	3.58	842	0.92	482	0.53	1740	1.90	1600	3.45	487	1.05	56	0.12
北海道	215	5.12	43	1.02	32	0.76	130	3.10	23	1.00	5	0.22	2	0.09
青森県	42	3.50	10	0.83	6	0.50	21	1.75	15	2.50	-	-	-	-
岩手県	87	6.69	11	0.85	4	0.31	30	2.31	46	2.30	14	0.70	11	0.55
宮城県	87	4.83	15	0.83	19	1.06	45	2.50	49	4.08	21	1.75	2	0.17
秋田県	23	1.64	2	0.14	6	0.43	1	0.07	12	1.50	6	0.75	-	-
山形県	30	3.00	4	0.40	3	0.30	12	1.20	39	3.90	9	0.90	-	-
福島県	43	2.69	4	0.25	9	0.56	44	2.75	6	0.86	-	-	-	-
茨城県	81	3.86	23	1.10	10	0.48	49	2.33	12	1.09	-	-	-	-
栃木県	66	4.13	11	0.69	8	0.50	54	3.38	29	4.14	4	0.57	1	0.14
群馬県	126	5.04	16	0.64	12	0.48	51	2.04	58	5.80	5	0.50	3	0.30
埼玉県	172	3.37	23	0.45	22	0.43	56	1.10	23	2.56	3	0.33	-	-
千葉県	91	2.33	29	0.74	20	0.51	48	1.23	39	4.33	52	5.78	4	0.44
東京都	186	4.54	90	2.20	48	1.17	89	2.17	126	6.00	42	2.00	7	0.33
神奈川県	170	2.83	37	0.62	17	0.28	69	1.15	24	2.18	34	3.09	3	0.27
新潟県	34	1.70	9	0.45	9	0.45	42	2.10	48	3.69	10	0.77	-	-
富山県	19	2.71	9	1.29	3	0.43	8	1.14	24	4.80	24	4.80	1	0.20
石川県	25	2.50	9	0.90	-	-	5	0.50	9	1.80	3	0.60	-	-
福井県	7	1.40	1	0.20	1	0.20	3	0.60	27	4.50	8	1.33	-	-
山梨県	15	2.50	1	0.17	1	0.17	7	1.17	7	0.70	20	2.00	-	-
長野県	54	3.38	15	0.94	19	1.19	18	1.13	34	3.09	5	0.45	-	-
岐阜県	27	1.80	7	0.47	6	0.40	22	1.47	21	4.20	1	0.20	-	-
静岡県	83	2.77	23	0.77	8	0.27	38	1.27	37	3.70	9	0.90	-	-
愛知県	194	3.88	40	0.80	29	0.58	151	3.02	56	4.31	-	-	1	0.08
三重県	12	0.92	6	0.46	1	0.08	20	1.54	45	5.63	2	0.25	3	0.38
滋賀県	15	1.67	1	0.11	4	0.44	4	0.44	37	6.17	-	-	1	0.17
京都府	124	5.90	14	0.67	6	0.29	11	0.52	2	0.29	-	-	-	-
大阪府	301	5.10	174	2.95	72	1.22	213	3.61	39	2.79	27	1.93	1	0.07
兵庫県	86	1.87	21	0.46	12	0.26	52	1.13	33	2.36	21	1.50	1	0.07
奈良県	22	2.44	3	0.33	3	0.33	26	2.89	30	5.00	14	2.33	1	0.17
和歌山県	4	0.50	6	0.75	1	0.13	8	1.00	29	2.64	3	0.27	-	-
鳥取県	17	3.40	-	-	-	-	6	1.20	27	5.40	-	-	1	0.20
島根県	14	2.33	6	1.00	-	-	7	1.17	50	6.25	14	1.75	-	-
岡山県	81	4.76	15	0.88	7	0.41	40	2.35	17	3.40	1	0.20	1	0.20
広島県	66	2.44	15	0.56	20	0.74	24	0.89	131	6.24	58	2.76	2	0.10
山口県	24	2.00	8	0.67	3	0.25	19	1.58	53	7.57	7	1.00	2	0.29
徳島県	7	1.17	2	0.33	-	-	1	0.17	22	3.14	2	0.29	-	-
香川県	31	3.44	4	0.44	4	0.44	11	1.22	22	4.40	10	2.00	-	-
愛媛県	20	1.82	5	0.45	3	0.27	22	2.00	6	1.00	2	0.33	-	-
高知県	10	1.67	2	0.33	1	0.17	6	1.00	59	7.38	13	1.63	4	0.50
福岡県	235	6.35	49	1.32	24	0.65	141	3.81	26	1.63	8	0.50	-	-
佐賀県	25	3.57	9	1.29	3	0.43	6	0.86	16	2.67	1	0.17	-	-
長崎県	20	2.50	17	2.13	5	0.63	6	0.75	2	0.18	-	-	-	-
熊本県	76	5.43	14	1.00	10	0.71	22	1.57	42	2.80	4	0.27	-	-
大分県	14	1.40	17	1.70	-	-	12	1.20	56	5.60	20	2.00	3	0.30
宮崎県	72	6.55	10	0.91	3	0.27	35	3.18	34	4.86	1	0.14	1	0.14
鹿児島県	77	4.81	7	0.44	5	0.31	49	3.06	20	1.67	-	-	-	-
沖縄県	51	4.25	5	0.42	3	0.25	6	0.50	38	5.43	4	0.57	-	-

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(男)

平成14年3月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1450	1.58	361	0.39	258	0.28	1397	1.53	1014	2.19	276	0.59	33	0.07
北海道	61	1.45	11	0.26	11	0.26	69	1.64	12	0.52	3	0.13	-	-
青森県	28	2.33	6	0.50	2	0.17	19	1.58	11	1.83	-	-	-	-
岩手県	30	2.31	5	0.38	3	0.23	27	2.08	31	1.55	5	0.25	4	0.20
宮城県	42	2.33	4	0.22	14	0.78	40	2.22	24	2.00	11	0.92	-	-
秋田県	5	0.36	1	0.07	2	0.14	1	0.07	10	1.25	3	0.38	-	-
山形県	19	1.90	1	0.10	1	0.10	11	1.10	27	2.70	4	0.40	-	-
福島県	23	1.44	1	0.06	3	0.19	44	2.75	4	0.57	-	-	-	-
茨城県	38	1.81	17	0.81	6	0.29	42	2.00	9	0.82	-	-	-	-
栃木県	38	2.38	7	0.44	4	0.25	50	3.13	17	2.43	2	0.29	1	0.14
群馬県	75	3.00	9	0.36	2	0.08	42	1.68	39	3.90	4	0.40	3	0.30
埼玉県	56	1.10	7	0.14	14	0.27	43	0.84	13	1.44	-	-	-	-
千葉県	49	1.26	14	0.36	12	0.31	43	1.10	28	3.11	24	2.67	2	0.22
東京都	97	2.37	32	0.78	31	0.76	75	1.83	89	4.24	28	1.33	5	0.24
神奈川県	91	1.52	17	0.28	12	0.20	66	1.10	14	1.27	20	1.82	3	0.27
新潟県	19	0.95	6	0.30	9	0.45	36	1.80	27	2.08	10	0.77	-	-
富山県	9	1.29	2	0.29	1	0.14	6	0.86	17	3.40	15	3.00	1	0.20
石川県	13	1.30	7	0.70	-	-	4	0.40	5	1.00	3	0.60	-	-
福井県	3	0.60	1	0.20	1	0.20	3	0.60	15	2.50	4	0.67	-	-
山梨県	6	1.00	-	-	1	0.17	7	1.17	2	0.20	10	1.00	-	-
長野県	18	1.13	5	0.31	2	0.13	12	0.75	27	2.45	5	0.45	-	-
岐阜県	11	0.73	3	0.20	3	0.20	17	1.13	12	2.40	-	-	-	-
静岡県	30	1.00	7	0.23	6	0.20	25	0.83	24	2.40	4	0.40	-	-
愛知県	124	2.48	27	0.54	26	0.52	133	2.66	36	2.77	-	-	-	-
三重県	7	0.54	2	0.15	-	-	20	1.54	31	3.88	1	0.13	2	0.25
滋賀県	2	0.22	-	-	-	-	4	0.44	18	3.00	-	-	1	0.17
京都府	15	0.71	2	0.10	2	0.10	9	0.43	2	0.29	-	-	-	-
大阪府	129	2.19	91	1.54	53	0.90	138	2.34	25	1.79	17	1.21	1	0.07
兵庫県	55	1.20	10	0.22	7	0.15	48	1.04	12	0.86	12	0.86	-	-
奈良県	14	1.56	3	0.33	3	0.33	25	2.78	20	3.33	5	0.83	1	0.17
和歌山県	3	0.38	3	0.38	1	0.13	5	0.63	19	1.73	2	0.18	-	-
鳥取県	6	1.20	-	-	-	-	6	1.20	17	3.40	-	-	-	-
島根県	7	1.17	3	0.50	-	-	6	1.00	33	4.13	10	1.25	-	-
岡山県	24	1.41	3	0.18	2	0.12	27	1.59	13	2.60	1	0.20	1	0.20
広島県	33	1.22	6	0.22	2	0.07	18	0.67	81	3.86	36	1.71	-	-
山口県	11	0.92	2	0.17	1	0.08	14	1.17	40	5.71	4	0.57	1	0.14
徳島県	2	0.33	-	-	-	-	-	-	14	2.00	2	0.29	-	-
香川県	8	0.89	1	0.11	2	0.22	8	0.89	11	2.20	4	0.80	-	-
愛媛県	5	0.45	3	0.27	1	0.09	21	1.91	1	0.17	1	0.17	-	-
高知県	5	0.83	-	-	-	-	5	0.83	32	4.00	5	0.63	4	0.50
福岡県	102	2.76	20	0.54	7	0.19	112	3.03	20	1.25	5	0.31	-	-
佐賀県	16	2.29	-	-	-	-	6	0.86	10	1.67	1	0.17	-	-
長崎県	14	1.75	4	0.50	-	-	6	0.75	1	0.09	-	-	-	-
熊本県	21	1.50	8	0.57	4	0.29	17	1.21	25	1.67	2	0.13	-	-
大分県	9	0.90	4	0.40	-	-	11	1.10	35	3.50	11	1.10	2	0.20
宮崎県	26	2.36	4	0.36	2	0.18	32	2.91	26	3.71	-	-	1	0.14
鹿児島県	48	3.00	2	0.13	3	0.19	43	2.69	10	0.83	-	-	-	-
沖縄県	3	0.25	-	-	2	0.17	1	0.08	25	3.57	2	0.29	-	-

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(女)

平成14年3月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1831	2.00	481	0.53	224	0.24	343	0.37	586	1.26	211	0.45	23	0.05
北海道	154	3.67	32	0.76	21	0.50	61	1.45	11	0.48	2	0.09	2	0.09
青森県	14	1.17	4	0.33	4	0.33	2	0.17	4	0.67	-	-	-	-
岩手県	57	4.38	6	0.46	1	0.08	3	0.23	15	0.75	9	0.45	7	0.35
宮城県	45	2.50	11	0.61	5	0.28	5	0.28	25	2.08	10	0.83	2	0.17
秋田県	18	1.29	1	0.07	4	0.29	-	-	2	0.25	3	0.38	-	-
山形県	11	1.10	3	0.30	2	0.20	1	0.10	12	1.20	5	0.50	-	-
福島県	20	1.25	3	0.19	6	0.38	-	-	2	0.29	-	-	-	-
茨城県	43	2.05	6	0.29	4	0.19	7	0.33	3	0.27	-	-	-	-
栃木県	28	1.75	4	0.25	4	0.25	4	0.25	12	1.71	2	0.29	-	-
群馬県	51	2.04	7	0.28	10	0.40	9	0.36	19	1.90	1	0.10	-	-
埼玉県	116	2.27	16	0.31	8	0.16	13	0.25	10	1.11	3	0.33	-	-
千葉県	42	1.08	15	0.38	8	0.21	5	0.13	11	1.22	28	3.11	2	0.22
東京都	89	2.17	58	1.41	17	0.41	14	0.34	37	1.76	14	0.67	2	0.10
神奈川県	79	1.32	20	0.33	5	0.08	3	0.05	10	0.91	14	1.27	-	-
新潟県	15	0.75	3	0.15	-	-	6	0.30	21	1.62	-	-	-	-
富山県	10	1.43	7	1.00	2	0.29	2	0.29	7	1.40	9	1.80	-	-
石川県	12	1.20	2	0.20	-	-	1	0.10	4	0.80	-	-	-	-
福井県	4	0.80	-	-	-	-	-	-	12	2.00	4	0.67	-	-
山梨県	9	1.50	1	0.17	-	-	-	-	5	0.50	10	1.00	-	-
長野県	36	2.25	10	0.63	17	1.06	6	0.38	7	0.64	-	-	-	-
岐阜県	16	1.07	4	0.27	3	0.20	5	0.33	9	1.80	1	0.20	-	-
静岡県	53	1.77	16	0.53	2	0.07	13	0.43	13	1.30	5	0.50	-	-
愛知県	70	1.40	13	0.26	3	0.06	18	0.36	20	1.54	-	-	1	0.08
三重県	5	0.38	4	0.31	1	0.08	-	-	14	1.75	1	0.13	1	0.13
滋賀県	13	1.44	1	0.11	4	0.44	-	-	19	3.17	-	-	-	-
京都府	109	5.19	12	0.57	4	0.19	2	0.10	-	-	-	-	-	-
大阪府	172	2.92	83	1.41	19	0.32	75	1.27	14	1.00	10	0.71	-	-
兵庫県	31	0.67	11	0.24	5	0.11	4	0.09	21	1.50	9	0.64	1	0.07
奈良県	8	0.89	-	-	-	-	1	0.11	10	1.67	9	1.50	-	-
和歌山県	1	0.13	3	0.38	-	-	3	0.38	10	0.91	1	0.09	-	-
鳥取県	11	2.20	-	-	-	-	-	-	10	2.00	-	-	1	0.20
島根県	7	1.17	3	0.50	-	-	1	0.17	17	2.13	4	0.50	-	-
岡山県	57	3.35	12	0.71	5	0.29	13	0.76	4	0.80	-	-	-	-
広島県	33	1.22	9	0.33	18	0.67	6	0.22	50	2.38	22	1.05	2	0.10
山口県	13	1.08	6	0.50	2	0.17	5	0.42	13	1.86	3	0.43	1	0.14
徳島県	5	0.83	2	0.33	-	-	1	0.17	8	1.14	-	-	-	-
香川県	23	2.56	3	0.33	2	0.22	3	0.33	11	2.20	6	1.20	-	-
愛媛県	15	1.36	2	0.18	2	0.18	1	0.09	5	0.83	1	0.17	-	-
高知県	5	0.83	2	0.33	1	0.17	1	0.17	27	3.38	8	1.00	-	-
福岡県	133	3.59	29	0.78	17	0.46	29	0.78	6	0.38	3	0.19	-	-
佐賀県	9	1.29	9	1.29	3	0.43	-	-	6	1.00	-	-	-	-
長崎県	6	0.75	13	1.63	5	0.63	-	-	1	0.09	-	-	-	-
熊本県	55	3.93	6	0.43	6	0.43	5	0.36	17	1.13	2	0.13	-	-
大分県	5	0.50	13	1.30	-	-	1	0.10	21	2.10	9	0.90	1	0.10
宮崎県	46	4.18	6	0.55	1	0.09	3	0.27	8	1.14	1	0.14	-	-
鹿児島県	29	1.81	5	0.31	2	0.13	6	0.38	10	0.83	-	-	-	-
沖縄県	48	4.00	5	0.42	1	0.08	5	0.42	13	1.86	2	0.29	-	-

注 4月24日集計分

第1104表 新登録患者数・都道府県別

平成14年3月

	結核
	報告数
総数	2604
北海道	101
青森県	30
岩手県	17
宮城県	32
秋田県	14
山形県	14
福島県	29
茨城県	47
栃木県	29
群馬県	37
埼玉県	126
千葉県	120
東京都	300
神奈川県	135
新潟県	35
富山県	19
石川県	14
福井県	7
山梨県	15
長野県	33
岐阜県	53
静岡県	61
愛知県	174
三重県	35
滋賀県	27
京都府	51
大阪府	356
兵庫県	144
奈良県	38
和歌山県	20
鳥取県	10
島根県	11
岡山県	32
広島県	26
山口県	29
徳島県	17
香川県	23
愛媛県	25
高知県	8
福岡県	123
佐賀県	19
長崎県	31
熊本県	20
大分県	18
宮崎県	42
鹿児島県	36
沖縄県	21



16週のデータ

注)表中の報告数は4月26日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年16週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	6	296	1	17	1	11		
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1	1	-	-		
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1		
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-		
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26	-	-	-	-		
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-		
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-		
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-		
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	63	-	-	-	-		
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	25	-	8	-	4		
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	-	2	-	-		
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-		
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27	-	-	-	-		
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-		
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29	-	-	-	1		
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-		
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	7	-	-	-	1	1	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1		
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1		
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	3	-	1		
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-		
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-		
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1		
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-		
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-		
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-		
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28	-	-	-	-		
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成14年16週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	46	182	8	123	-	3	-	-	-	28	-	-	14	341
北海道	-	-	-	-	-	3	-	5	-	3	-	-	-	-	-	-	-	4
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
岩手県	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
宮城県	-	-	-	-	1	7	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	19
秋田県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
山形県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
福島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
茨城県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
群馬県	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
埼玉県	-	-	-	-	1	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
千葉県	-	-	-	-	-	1	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21
東京都	-	-	-	-	1	8	2	25	-	-	-	-	-	1	-	-	6	63
神奈川県	-	-	-	-	-	9	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
新潟県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
石川県	-	-	-	-	6	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	-	2	-	5	-	-	-	-	-	3	-	-	-	10
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
愛知県	-	-	-	-	-	7	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
三重県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	1	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	7	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
大阪府	-	-	-	-	2	11	2	16	-	-	-	-	-	2	-	-	-	15
兵庫県	-	-	-	-	-	23	-	6	-	-	-	-	-	2	-	-	2	16
奈良県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
和歌山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鳥取県	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	3	11	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	7
広島県	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	8
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	14
徳島県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
香川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	-	8	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
佐賀県	-	-	-	-	20	24	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	2	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	2	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
鹿児島県	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
沖縄県	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成14年16週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	6	-	-	-	63	1	43	2	36	7	232	-	1	5	29	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	13	-	-	-	2	-	-
東京都	-	4	-	-	-	2	1	3	-	3	4	97	-	-	3	14	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	15	-	-	-	3	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	6	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	4	-	4	-	12	-	-	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	4	-	-	-	2	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	21	-	1	2	3	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	61	-	2	1	4	-	5	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成14年16週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風疹症候群		炭疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児ポツリヌス症		梅毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	1	-	-	-	-	3	49	-	16	-	-	-	-	-	-	4	152
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福島県	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	3
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	4	4	-	4	-	-	-	-	-	-	-	17
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	6
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	7
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	29
兵庫県	-	-	-	-	-	-	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	1	9
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
広島県	-	-	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成14年16週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	15	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	1	26	-	-	1	35
北海道	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	3
千葉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
東京都	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	6
神奈川県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	4
兵庫県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	4
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成14年16週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	5157	1.10	158	0.05	3398	1.12	16705	5.52	5391	1.78	587	0.19	2060	0.68	2527	0.84	36	0.01
北海道	601	2.61	-	-	335	2.31	423	2.92	158	1.09	38	0.26	47	0.32	90	0.62	1	0.01
青森県	256	3.94	11	0.26	54	1.29	247	5.88	46	1.10	2	0.05	93	2.21	25	0.60	-	-
岩手県	279	4.50	2	0.05	19	0.50	195	5.13	48	1.26	-	-	9	0.24	19	0.50	-	-
宮城県	256	2.64	1	0.02	36	0.61	375	6.36	88	1.49	13	0.22	49	0.83	59	1.00	-	-
秋田県	230	4.18	1	0.03	31	0.89	195	5.57	35	1.00	5	0.14	67	1.91	21	0.60	-	-
山形県	250	5.21	-	-	82	2.73	150	5.00	60	2.00	1	0.03	23	0.77	40	1.33	1	0.03
福島県	62	0.78	1	0.02	43	0.93	318	6.91	91	1.98	7	0.15	66	1.43	44	0.96	1	0.02
茨城県	11	0.09	1	0.01	60	0.81	217	2.93	101	1.36	30	0.41	68	0.92	35	0.47	-	-
栃木県	7	0.10	3	0.07	43	0.93	203	4.41	64	1.39	-	-	80	1.74	47	1.02	-	-
群馬県	54	0.54	4	0.06	67	1.08	244	3.94	84	1.35	1	0.02	53	0.85	58	0.94	-	-
埼玉県	60	0.24	13	0.08	202	1.29	854	5.44	284	1.81	26	0.17	135	0.86	167	1.06	3	0.02
千葉県	64	0.31	5	0.04	180	1.38	547	4.21	305	2.35	6	0.05	60	0.46	109	0.84	-	-
東京都	30	0.17	2	0.01	118	0.83	552	3.89	134	0.94	22	0.15	60	0.42	113	0.80	-	-
神奈川県	71	0.22	10	0.05	210	1.02	928	4.50	324	1.57	60	0.29	183	0.89	204	0.99	3	0.01
新潟県	245	2.95	12	0.24	94	1.88	265	5.30	113	2.26	5	0.10	78	1.56	33	0.66	-	-
富山県	68	1.42	-	-	64	2.21	155	5.34	63	2.17	6	0.21	42	1.45	31	1.07	1	0.03
石川県	68	1.42	1	0.03	26	0.90	290	10.00	92	3.17	16	0.55	47	1.62	31	1.07	-	-
福井県	55	1.72	1	0.05	51	2.32	204	9.27	34	1.55	-	-	12	0.55	12	0.55	-	-
山梨県	69	1.68	-	-	32	1.28	104	4.16	21	0.84	17	0.68	11	0.44	8	0.32	-	-
長野県	81	0.94	2	0.04	129	2.39	305	5.65	77	1.43	2	0.04	62	1.15	36	0.67	-	-
岐阜県	18	0.26	1	0.02	58	1.23	205	4.36	88	1.87	3	0.06	17	0.36	38	0.81	1	0.02
静岡県	73	0.53	2	0.02	97	1.13	410	4.77	187	2.17	5	0.06	90	1.05	80	0.93	1	0.01
愛知県	55	0.28	6	0.03	126	0.69	777	4.27	224	1.23	28	0.15	59	0.32	130	0.71	2	0.01
三重県	51	0.70	-	-	47	1.04	290	6.44	64	1.42	1	0.02	37	0.82	61	1.36	3	0.07
滋賀県	42	0.79	-	-	8	0.25	139	4.34	69	2.16	-	-	12	0.38	29	0.91	-	-
京都府	37	0.29	-	-	54	0.71	664	8.74	105	1.38	6	0.08	60	0.79	45	0.59	-	-
大阪府	84	0.28	13	0.07	153	0.78	1004	5.15	302	1.55	25	0.13	124	0.64	141	0.72	-	-
兵庫県	121	0.61	4	0.03	94	0.73	868	6.78	309	2.41	24	0.19	89	0.70	114	0.89	4	0.03
奈良県	12	0.22	1	0.03	31	0.89	171	4.89	69	1.97	9	0.26	28	0.80	16	0.46	-	-
和歌山県	9	0.18	1	0.03	20	0.65	170	5.48	33	1.06	5	0.16	17	0.55	40	1.29	-	-
鳥取県	12	0.41	1	0.05	15	0.79	342	18.00	50	2.63	1	0.05	15	0.79	21	1.11	-	-
島根県	40	1.05	3	0.13	10	0.43	97	4.22	26	1.13	38	1.65	32	1.39	13	0.57	-	-
岡山県	50	0.60	2	0.04	16	0.30	217	4.02	83	1.54	5	0.09	8	0.15	27	0.50	1	0.02
広島県	52	0.44	4	0.05	56	0.75	483	6.44	106	1.41	19	0.25	8	0.11	49	0.65	1	0.01
山口県	247	3.53	4	0.08	74	1.51	526	10.73	114	2.33	8	0.16	38	0.78	49	1.00	2	0.04
徳島県	70	1.84	1	0.04	28	1.22	126	5.48	23	1.00	7	0.30	10	0.43	13	0.57	2	0.09
香川県	76	1.49	-	-	28	0.88	180	5.63	63	1.97	12	0.38	23	0.72	23	0.72	-	-
愛媛県	27	0.42	13	0.33	47	1.21	333	8.54	91	2.33	2	0.05	24	0.62	32	0.82	1	0.03
高知県	9	0.18	6	0.19	52	1.68	157	5.06	61	1.97	76	2.45	16	0.52	18	0.58	-	-
福岡県	613	3.10	3	0.03	244	2.03	737	6.14	357	2.98	5	0.04	24	0.20	125	1.04	4	0.03
佐賀県	24	0.62	-	-	34	1.48	115	5.00	59	2.57	1	0.04	5	0.22	39	1.70	-	-
長崎県	85	1.21	-	-	25	0.57	205	4.66	67	1.52	-	-	28	0.64	22	0.50	-	-
熊本県	193	2.38	10	0.20	78	1.59	337	6.88	108	2.20	-	-	22	0.45	55	1.12	2	0.04
大分県	77	1.33	1	0.03	40	1.11	334	9.28	97	2.69	-	-	11	0.31	43	1.19	2	0.06
宮崎県	191	3.18	5	0.14	45	1.22	535	14.46	116	3.14	8	0.22	5	0.14	66	1.78	-	-
鹿児島県	36	0.37	5	0.08	39	0.65	471	7.85	189	3.15	4	0.07	13	0.22	42	0.70	-	-
沖縄県	36	0.62	2	0.06	3	0.09	41	1.21	109	3.21	38	1.12	-	-	14	0.41	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成14年16週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	98	0.03	391	0.13	463	0.15	3659	1.21	30	0.05	713	1.13	-	-	7	0.01	13	0.03
北海道	1	0.01	4	0.03	2	0.01	70	0.48	-	-	25	0.86	-	-	-	-	-	-
青森県	2	0.05	1	0.02	46	1.10	55	1.31	-	-	8	0.73	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	1	0.03	3	0.08	80	2.11	-	-	8	0.67	-	-	-	-	-	-
宮城県	2	0.03	7	0.12	7	0.12	115	1.95	1	0.09	14	1.27	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	61	1.74	-	-	5	0.71	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	1	0.03	1	0.03	117	3.90	-	-	3	0.38	-	-	-	-	2	0.20
福島県	2	0.04	-	-	20	0.43	117	2.54	2	0.17	17	1.42	-	-	1	0.14	-	-
茨城県	-	-	5	0.07	30	0.41	53	0.72	-	-	40	2.50	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.02	1	0.02	1	0.02	85	1.85	-	-	16	1.33	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	5	0.08	9	0.15	57	0.92	-	-	37	2.64	-	-	-	-	-	-
埼玉県	3	0.02	14	0.09	41	0.26	103	0.66	-	-	34	1.00	-	-	-	-	-	-
千葉県	1	0.01	9	0.07	54	0.42	111	0.85	-	-	29	0.85	-	-	-	-	-	-
東京都	1	0.01	10	0.07	7	0.05	89	0.63	-	-	20	1.43	-	-	1	0.04	1	0.04
神奈川県	2	0.01	7	0.03	29	0.14	148	0.72	2	0.05	56	1.33	-	-	1	0.09	-	-
新潟県	-	-	10	0.20	-	-	102	2.04	-	-	13	2.17	-	-	1	0.08	-	-
富山県	-	-	4	0.14	4	0.14	100	3.45	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	3	0.10	-	-	46	1.59	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	10	0.45	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.33
山梨県	-	-	-	-	8	0.32	68	2.72	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	4	0.07	-	-	92	1.70	-	-	24	2.40	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	1	0.02	14	0.30	39	0.83	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	1	0.01	20	0.23	115	1.34	-	-	31	1.55	-	-	-	-	-	-
愛知県	4	0.02	11	0.06	117	0.64	189	1.04	-	-	18	0.51	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	2	0.04	3	0.07	54	1.20	-	-	12	1.00	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	1	0.03	-	-	35	1.09	1	0.14	3	0.43	-	-	-	-	-	-
京都府	5	0.07	-	-	1	0.01	48	0.63	-	-	9	0.50	-	-	-	-	-	-
大阪府	6	0.03	30	0.15	10	0.05	133	0.68	2	0.04	19	0.37	-	-	-	-	-	-
兵庫県	4	0.03	6	0.05	5	0.04	128	1.00	1	0.03	37	1.03	-	-	1	0.08	-	-
奈良県	-	-	1	0.03	-	-	59	1.69	2	0.22	12	1.33	-	-	-	-	-	-
和歌山県	1	0.03	-	-	1	0.03	48	1.55	-	-	3	0.75	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	3	0.16	6	0.32	26	1.37	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.40
島根県	-	-	5	0.22	1	0.04	25	1.09	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
岡山県	5	0.09	5	0.09	-	-	76	1.41	-	-	10	0.83	-	-	-	-	-	-
広島県	6	0.08	6	0.08	2	0.03	86	1.15	2	0.10	36	1.80	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	28	0.57	2	0.04	41	0.84	-	-	12	1.33	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	1	0.04	1	0.04	58	2.52	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	1	0.03	6	0.19	31	0.97	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	20	0.51	-	-	66	1.69	-	-	29	4.14	-	-	-	-	-	-
高知県	1	0.03	1	0.03	-	-	14	0.45	-	-	5	1.67	-	-	-	-	-	-
福岡県	45	0.38	39	0.33	3	0.03	105	0.88	1	0.04	50	1.92	-	-	1	0.07	-	-
佐賀県	1	0.04	28	1.22	1	0.04	37	1.61	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	7	0.16	1	0.02	45	1.02	13	1.63	18	2.25	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	29	0.59	-	-	28	0.57	-	-	14	1.56	-	-	-	-	2	0.13
大分県	1	0.03	31	0.86	3	0.08	76	2.11	1	0.20	2	0.40	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	30	0.81	2	0.05	164	4.43	-	-	12	3.00	-	-	1	0.14	4	0.57
鹿児島県	2	0.03	15	0.25	1	0.02	142	2.37	-	-	8	1.33	-	-	-	-	-	-
沖縄県	2	0.06	3	0.09	1	0.03	112	3.29	2	0.20	11	1.10	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成14年16週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	57	0.12	7	0.01	17	0.04
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	4	0.20	-	-	-	-
宮城県	3	0.25	1	0.08	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-
山形県	1	0.10	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	1	0.11	1	0.11	2	0.22
千葉県	-	-	-	-	-	-
東京都	1	0.04	-	-	5	0.20
神奈川県	1	0.09	-	-	1	0.09
新潟県	9	0.75	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	4	0.80
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	2	0.20	4	0.40	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-
愛知県	2	0.15	-	-	3	0.23
三重県	-	-	-	-	1	0.11
滋賀県	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	5	0.33	1	0.07	-	-
兵庫県	5	0.38	-	-	-	-
奈良県	1	0.17	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	3	0.60	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-
広島県	7	0.33	-	-	-	-
山口県	1	0.13	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	1	0.17	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-
福岡県	1	0.07	-	-	-	-
佐賀県	2	0.33	-	-	1	0.17
長崎県	1	0.08	-	-	-	-
熊本県	3	0.20	-	-	-	-
大分県	1	0.10	-	-	-	-
宮崎県	1	0.14	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-
沖縄県	1	0.14	-	-	-	-

感染症週報 第4巻、第16号 平成14年5月13日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhlw.go.jp/>
 <厚生労働省>
<http://www.forth.go.jp/>
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。